

令和7年度 ぎふ立志リーダー養成塾 実施報告書



岐 阜 県

目 次

	ページ
開塾のあいさつ	1
開催概要	2
日程表	10
合い言葉とユニフォーム	11
プログラムを終えての塾生の感想	12
保護者の感想	31
学生スタッフの感想	36
事業の成果	41





開塾のあいさつ

令和7年度ぎふ立志リーダー養成塾 塾長

柳原 幸一

全力 塾で学んだこと 受け身はダメゼったい 進んで動けるリーダーに
塾後の自分 私の目指すリーダー 塾で学んだこと 成長
大きく成長した4日間 仲間と共に 挑戦～真のリーダーとは リーダーとは・・・
自発的になるために 塾で学んだこと 挑戦～頼られるリーダーに 塾で学んだこと
絆 塾で学んだこと 塾に参加して 塾で学んだこと 塾を終えた自分
新たなスタート歩み続ける 塾を終えて 最高のリーダーを目指して 塾を終えて
良き仲間が自分を変える 塾で学んだこと 塾を通して 挑戦 塾で学んだこと
リーダーとしての自分 今を超える一歩 4日間で終わった自分 自分革命
頼れるリーダーになる 全員一致は無効です 塾で得たこと リーダーとして
目指すリーダー像に向かって 一步一步前進しながら リーダーとは何か
さらなる高みへ リーダーとして 自分らしいリーダー 自分なりのリーダーへ
発信力を大切に 仲間がいるから 自分らしいリーダーに 逆算するリーダーに
大切にしている三つのこと 挑戦 理想のリーダー像 塾での学びと今 周り自分
研修を通して 自分なりのリーダー像 私は私らしく 見つけたリーダー像
リーダーとしての自分 最高の同志から学んだこと 学んだことを生かす
新たな始まり 塾での成果 寄り添うリーダー 真のリーダーへ
努力と挑戦をし続けるリーダーへ 先を見る力 工夫する力 本当のリーダー
真のリーダーに 真のリーダーって 塾を通して 挑戦 未完成なリーダー
人と関わり合うために 仲間との絆 正解のない考え方 誰よりも 自分から
これからも仲間を大切に

上記の言葉たちは、私が、塾長をつとめた年度の生徒達が書いた感想文の“題”です。
4日間の研修、思いっきり真剣に取り組んで下さい。
今、開塾式にいる君達。4日後の閉塾式にいる君達。
その差を実感できるのは、君達だけですから。
プログラムを終えた君達の“感想”を楽しみにして、挨拶とします。

令和7年度「ぎふ立志リーダー養成塾」の概要

<開催趣旨>

現在の日本は、少子高齢化に伴う社会保障問題や国際社会の複雑な情勢、温暖化に代表される地球規模の環境問題など、課題が山積しており、日本や地域社会の未来を切り拓いていく力強いリーダーの存在が求められています。リーダーには、広い視野と高い志、倫理観に裏打ちされた人格を基盤に、ビジョンを立て、それを自分のことばで伝えるなどの資質が必要とされています。

この養成塾では、感受性豊かな青年前期にあり、また、学校においてリーダー的役割を担い、将来、各方面での活躍が期待される志の高いみなさんが、美しく豊かな自然環境の中、優れたアドバイザーの指導のもと、同じ志をもった仲間とともに、「考え、チャレンジし、まとめあげ、発信する」共同作業を通して、「目的を達成するために、責任ある決断をし、人をまとめ、導く力」を伸ばすことにより、将来のリーダーを養成します。

主 催： 岐阜県

協 賛： 一般社団法人岐阜県経済同友会、一般社団法人岐阜県経営者協会、岐阜県商工会議所連合会、
岐阜県中小企業団体中央会、岐阜県商工会連合会

後 援： 岐阜県教育委員会

塾 長 等： 塾 長 柳原 幸一 氏（一般社団法人岐阜県経済同友会筆頭代表幹事）

副塾長 益川 浩一 氏（東海国立大学機構岐阜大学 副学長補佐 地域連携推進本部地域協学センター長 教授）

開催期日： 令和7年8月8日（金）、8月9日（土）、8月10日（日）、8月11日（月）（3泊4日）

会 場： トヨタ白川郷自然学校（大野郡白川村馬狩223）

塾 生： 岐阜県内の中学校において、現在生徒会長・副会長・生徒会役員・学級代表（議員を含む）として活動する2年生及び3年生（いずれも経験者を含む）24名

1 第1日目 8月8日（金）

（1）講義 「リーダーを目指し、伸ばそう、自分の力。深めよう、自分の心。」

【講師】 柳原 幸一 塾長

（一般社団法人岐阜県経済同友会筆頭代表幹事、株式会社 鶴飼 取締役会長）

【内容】

①行動方針について

- ・ご自身のこれまでの経験を踏まえて、感謝と配慮の心を持ち、魂を込めて行動することの大切さを考える。
- ・「当たり前」などない。「当たり前」だと思っていることに感謝し、前向きに物事に取り組み、変化と進化を繰り返す。

②努力

- ・努力した時間は無駄にはならない。
- ・“失敗”と書いて、“成長”と読む。

③整理、整頓、引き出し

- ・“整理”と“整頓”のちがいは。
- ・引き出しへの仕舞い方。



<塾生の感想>

- ・「失敗しても、なぜ失敗したのかを考えて、引き出しにしまっておく」という言葉が、心に残りました。これまでは、失敗すると、罪悪感があり、あまり原因を考えませんでした。けれど、「失敗したからこそ成長できる、考えることで進化できる」と、自分の悩みを的確に教えていただきました。
- ・心に大きく響いたものがあります。「失敗＝成長」というフレーズです。「失敗と書いて成長と読む」という言葉で、失敗しないようにいつも完璧を目指す、という僕の中での考え方に、失敗することほど、僕を成長させてくれるものはない、というポジティブなものをプラスしてくれたのです。

(2) リーダー養成プログラム① 「チームビルディング」

【指導】 トヨタ白川郷自然学校インタープリター

【内容】 同じ目的に向かう仲間づくりのための活動

活動名	目 的	内 容	ポイント
ラインナップ	アイス ブレイク	情報交換なしに誕生日 順に並ぶ。	集団の中で自ら判断し、行動するメンバ ーシップや、言語以外のコミュニケーション を体験する。
仲間探し	アイス ブレイク	しゃべらないで自分と 同じ部活動に所属して いる仲間を探す。	自らを表現することや、放課後の活動を視 覚的に知り、お互いを知るための個人情報 を共有する。
ネームトス	アイス ブレイク	お互いの名前を呼びな がらボールを投げあう 中で、覚えていく。	対人関係を円滑にする双方向コミュニケー ションを意識づけると共に、名前を気軽に 呼び合える関係を醸成する。
フラフープくぐり	信頼関係 づくり	手をつないで円になっ た状態でフラフープを 一周させる。	仲間と共により良い方法を考えながら、全 員で課題を達成する。

<塾生の感想>

- ・一人一人の名前を覚えるきっかけになり、コミュニケーションを取ることができた。「フラフープくぐり」では協力が必要だったので、いい協力プレーができた。
- ・お互いに声を掛け合って、作戦を考え喜びを感じられたし、自分もリーダー達と意見を交流し合って、より良い結果を目指して活動ができた。



(3) リーダー養成プログラム② 「地域課題への企画提案」

【講師】 白川村役場 観光振興課長 古田 直樹 氏

東海国立大学機構岐阜大学 副学長補佐 地域連携推進本部地域協学センター長 教授 益川 浩一 教授

【内容】

○白川村の現状と第2次総合戦略（後期）の説明

- ・「白川村未来地図（リーフレット）」に沿って、4つの取組内容を説明。
- ・白川村第2次総合戦略（後期）を進めるにあたり、現在、白川村が行っている取組についての説明。
- ・塾生に望むこととして、「将来は地元に戻ってきて、職に就き、地元に貢献できる人間になりましょう」ということを伝えられた。

○地域課題への企画提案の進め方【オンライン講話】

- ・「地域課題解決型学習」を進めていく上で、大切にしたいこと。
- ・問題を表面化させることも大切であるが、一見マイナスに見える課題も、見方を変えることで、プラス（地域の強み）になることを考えることの重要性。
- ・「バックキャスト思考・バックキャストリング」の考え方
- ・「最上位の目標」を常に意識し、「絶対解」ではなく、「納得解・最適解」を求めることの重要性を示唆

＜塾生の感想＞

- ・岐阜県や白川村の現状や課題、課題解決のために必要な発想や企画を立てるために必要な思考、ポイントなどを知ることができた。
- ・2つの講話を聞き、地域の課題解決に対する考え方や、プレゼンの作成方法などが理解できたので、明日からのグループワークに生かしていきたいと感じた。

（４）１日の振り返り

１日を振り返り、自分の成長やこれからがんばりたいことを記述（毎日実施）。

２ 第２日目 ８月９日（土）

（１）リーダー養成プログラム③ 「荻町フィールドワーク」

【内容】 白川郷荻町合掌集落について、実際に集落内へ移動し、合掌造りの見学を通して、世界遺産を守るための住民の努力と今後の課題等について学ぶ。また、合掌集落へ観光に来た方々に、インタビューを行い、観光客の意識調査を実施する。

【見学先】 白川郷荻町合掌集落全体、白川八幡神社、明善寺、神田家、長瀬家、和田家等



＜塾生の感想＞

- ・初めて、人に質問した時は、不安と緊張であまり質問ができませんでした。しかし、観光客や地元の人たちは、みんな笑顔で質問に答えてくれて、少しずつ安心して質問することができました。
- ・外国人観光客の方には、英語で取材しました。私は、英語があまり得意ではなかったため、取材は難しかったです。仲間に助けてもらいながらも、なんとかやり切ることができました。自分の苦手なことにチャレンジできたことは、とても良い経験になったと思います。

（２）リーダー養成プログラム④ 講話「リーダーとして期待すること」

【講師】岐阜県教育委員会 青木 孝憲 義務教育総括監

【内容】

○謎解きゲーム「犯人は誰？」

- ・情報の書かれたカードの情報を共有し、謎を解くゲームを通してチーム内の役割について考える。
- ・推進役、従者、反対役、観察役がある。推進役と従者しかいないと間違った方向に進んだときに修正できない。反対役、観察役も必要。

○リーダーの役割とは

- ・リーダーは組織で活動する上での役割にすぎない。目的を達成するために結果を出せる人。チームが向かうべきビジョンを掲げ、メンバーを動機づけ、やる気にさせる。

○どんな人がリーダーに向いているか。

- ・話しやすいリーダーがメンバーに安心感をあたえ、進捗状況も把握できる。
- ・積極的に話しかけ、考えや思いを届けることが大切。

○「志」とは

- ・「夢」や「希望」は自己のために望み願うことであるが、「志」には「相手のために思う気持ち」がある。



< 塾生の感想 >

- ・私は、「2本のペンを左右それぞれの手で仲間と持ちながら人間あやとりをする活動」、「1人2つの与えられた情報を皆で共通し、答えにたどり着く活動」を通して、皆それぞれ能力をもち、それぞれの活動や目標には、それぞれに適したリーダーがいることを学んだ。
- ・リーダーとは、なろうとしてなるものではなく、活動を通じて信頼されたり強みを見つけたりして、それを最大限に生かすべく、メンバー一人一人の心を動かす人であることを学んだ。

(3) リーダー養成プログラム⑤「地域課題へのアプローチ」

【講師】 一般社団法人ホワイエ 柴原 孝治 代表

【内容】 地域のための取り組みや活動をしている方から、白川村の現状・課題に対して、どのような考えで取り組んできたかを理解する。各自の企画を見直し、今後の企画提案に向けての見通しをもつ。

白川村総合戦略

〈基本目標① ひと〉

- ・地域の最重要課題：人口減少・少子高齢化
- ・自然増減と社会増減の違いとは。
- ・地域において人口が減ったら、何が困るのか。
- ・地域行事への影響と若者の思い。
- ・移住者の受け入れとその課題
- ・村民と移住者との合意形成の重要性
- ・白川郷学園での「ふるさと学」の大切さ

〈基本目標② しごと〉

- ・「量から質へ」の課題
- ・通過型観光→お金が地域に落ちにくい。
- ・人手不足→働き手が足りず営業できない。
- ・白川村の産業の課題
- ・2大産業（観光業と建設業）だけでは成り立たない。
- ・若者にとって、「仕事がない」＝「魅力的な仕事がない」なのか。
- ・6次産業【1次産業（生産）×2次産業（加工）×3次産業（販売）】

講話後にグループワークで分かったことを出し合い、分類し、意見を整理し全体で交流を行った。



＜塾生の感想＞

- ・実際に移住されたからこそ分かるリアルな声を知ることができ、様々な視点から考えることで、移住者と村民との関わりについて理解を深めることができた。
- ・「通過型観光」に対する考え方を深めることができた。交通の利便性に伴う課題であることに着目して、自身の企画提案に生かしていきたいと感じた。
- ・講話後のグループワークにおいて、一人一人が考えたことを付箋に書き、まとめていく過程を通して、様々な意見や考え方があることに気づき、それを丁寧にまとめることの難しさを感じた。

3 第3日目 8月10日（日）

（1）モーニングウォーク

【指導】トヨタ白川郷自然学校インタープリター

【内容】インタープリターによるガイドを受けながら、朝の森を散策する。植物の知識や森の役割を理解する。

当日は雨天のため、室内での講話と木の実や樹木の葉などに触れ、そこから読み取れる生き物の生態について理解した。



＜塾生の感想＞

- ・雨で、森に入ることはできなかったけれど、白川村の豊かな森や自然を感じることが出来て良かった。
- ・木の実を使ったクイズでは、生き物の様子を想像したり、その樹木の生態について理解することができたりして、とてもリラックスすることができた。
- ・樹木の葉のにおいや枝のにおいをかぐことはこれまでなかったので、新鮮な気持ちになったし、リラックスできることを知り、自分でもやってみようと思った。

（2）リーダー養成プログラム⑤ 「地域課題への企画提案」

【講師】東海国立大学機構岐阜大学 副学長補佐 地域連携推進本部地域協学センター長 教授 益川 浩一 教授

【内容】

○企画提案発表会リハーサル後の助言

- ・耳慣れたフレーズや課題を連想するのではなく、地域ならではのリアルを知る。
- ・真の課題はどこかを捉える。
- ・実現可能であるか。「あるもの活かし」の発想が大切。
- ・異質なものを組み合わせることによる相乗効果、アウフヘーベン。
- ・理想に向かって現実を近づけるバックキャスト思考。

○グループワークのグランドルール

- ・全員が同じ立場として参加する。
- ・他人の意見を否定しない。
- ・全員が場づくりに責任を持つ。
- ・全員が当事者意識をもつ。

○プレゼン

- ・see → show → speak 聞き手を見て、視覚情報から入り、説明する。
- ・反応の良い聞き手を見つけ、気分を上げてから視線を全体に向ける。



＜塾生の感想＞

- ・話し合いで方向性が違って行き詰りうまく進まないことがあったが、「客観的な視点」を持つことで、仲間の意見の相違に気付くことができ、より深い話し合いをすることができた。
- ・「当事者意識」という考え方をまだ、自分には足りないことに気付いた。どうしても、白川村のことと考えると、自分がその立場（移住者）であったなら・・・という立場で考えることが必要だと感じた。

4 第4日目 8月11日（月）

リーダー養成プログラム⑤ 「地域課題への企画提案」発表会

【講評】 白川村教育委員会

新谷 さゆり 事務局長

東海国立大学機構岐阜大学 副学長補佐 地域連携推進本部地域協学センター長 教授 益川 浩一 教授

【内容】

○Aグループ（テーマ：移住の推進）

現状と課題

- ・白川村の急速な人口減少。
- ・『知る』というキーワードから、より多くの人により深く白川村を知ってもらう必要があること。
- ・『共存』というキーワードから、観光客のマナーの悪化が村民の生活を脅かすとともに、移住者の減少につながっている。また、就職先に関りがあることから、若者の移住者が少ないこと。
- ・2つのキーワードから、「人々が観光地としての白川郷しか見ていない」のではないかと考える。

企画案：『Go!! Go!! 白川郷』

【移住希望者や、都会の人に白川郷を知ってもらい、観光地と移住先の共存をする】

提案①：移住希望者や都会の人に白川郷を知ってもらう

- ・観光地としてではない、白川村を知ってもらう。
- ・かやぶき屋根のふきかえ体験活動。
- ・広告→SNS 発信→【実際の活動】→リピートできるようなメリット（クーポン等）→参加者からの SNS 発信の依頼

提案②：観光地と移住先の共存をする

- ・観光客のマナーの向上を図る。（白川郷の観光ルールの認知度の向上）
- ・地図とマナーブックを組み合わせたパンフレットの作成
- ・観光客に1日白川村生活体験ツアーに参加してもらい、マナーの向上を図る。
- ・ピクトグラムによる観光ルールの徹底

○Bグループ（テーマ：定住の推進）

現状と課題

- ・転入者数に比べ、転出者数が年々増加し、人口減少が起こっている。
- ・都市部に比べ、生活環境が整っておらず、移住への不安がある。
- ・生活が不便そうというイメージ（先入観）がある。

企画案：『のんびり留学』

提案①：SNS を活用した白川村の宣伝

- ・現在も外国人観光客の7割が SNS により白川村の情報を得ている。
- ・村外の方々のイメージ（先入観）は、デメリットのものが多く、実際とは違っている。
- ・観光に対する SNS は多いものの、村民の生活に関する情報発信が少ない。
- ・白川村の HP や、白川郷学園の村民学などともタイアップして情報発信する。
- ・情報発信により、移住希望者が安心して移住を進めていくことができる。

提案②：白川村留学プロジェクト

- ・「対象者について」、「具体的な活動内容」、「SNS を使い慣れていない人」、「移住から定住に!」、「この企画での効果」の5つのポイントで整理した。
- ・留学期間を3日～1週間とし、個人負担と補助金を活用。地域を知る活動をふんだんに取

り入れる。

- ・地域の公民館を移住者向けに開放し、地域コミュニティの入り口とする。
- ・留学に参加した方々が、移住後の未来を想像しやすくなり、移住から定住へと進みやすくなる。

提案③：白川村会社見学

- ・白川村にある産業を整理し、魅力ある情報発信を行う。
- ・行政と企業とに共通する目標として、「新しい人を入れる」ことがあげられることから、村全体で連携できるのではないかと考える。

〇Cグループ（テーマ：持続可能な未来につながる産業づくり）

現状と課題

- ・観光という産業によって活性化するには限界がある。
- ・通過型観光のため、観光客が支出する金額が少なく、村民の生活に還元されていない。

企画案：『持続可能な未来につながる産業づくり ～より良い産業を目指して～』

提案①：六次産業化による持続可能な産業

- ・村民の安定した利益と村民の生活の実現
- ・新たな特産品の開発→「雪菜」の栽培。白川村の環境に適した農産物。
- ・特産品の販売ルートの確保。
- ・特産品のブランド化→【ゆいかんな】：「ゆい：結いの心」、「かん：甘味、寒冷」、「な：菜」から命名

提案②：交通整備

- ・「新駐車場の整備」、「バス」、「ゴンドラ」の3点について提案
- ・自家用車による観光客を世界遺産集落から少し離れた場所に対応することで、交通渋滞の緩和と、歩く世界遺産とする。
- ・ステッカーやスタンプラリーを実施することで、アトラクション化する。他の世界遺産の実践例を参考にする。
- ・ゴンドラを建設し、空から世界遺産を見学できるようにする。
- ・ゴンドラ内で観光マナーガイドを掲示することで、外国人観光客への啓発を行う。
- ・夜間のゴンドラ運用を実施することで、宿泊客の増加を図る。

〇Dグループ（テーマ：観光と住民生活の両立）

現状と課題

- ・観光客のゴミのポイ捨てによる景観破壊と火災の危険性
- ・観光客のマナーの低下による村民の満足度の低下
- ・行楽シーズンの慢性的な交通渋滞
- ・人口減少による伝統文化の継承者の減少

企画案：『時間差観光プロジェクト』

提案：時間差観光

- ・現状として、朝・夕方に観光客が少なく、日中に観光客数が多くなる。そのため、10時から12時に渋滞のピークを迎えている。
- ・朝と夕方に来なくなる企画を提案する。
- ・「朝限定のレンタルサイクリング」、「展望台の天空ブランコ」などの企画を実施。
- ・朝限定「モーニング（飲食店）」割引の実施。
- ・夕方から夜間限定の星空見学会の実施。そうすることで、宿泊者数の増加を図る。

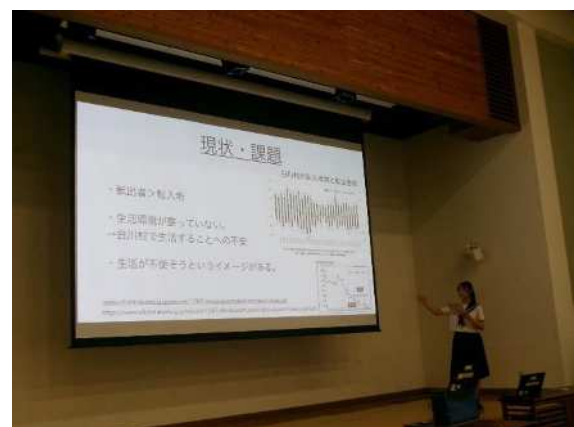
【講評内容】

〇白川村教育委員会 新谷 さゆり 事務局長

- ・すべてのグループが、4日間という短い期間の中で、本当に真剣に白川村のことを考えてくださったのだと思い、感謝している。
- ・地域課題を考える場合、地域社会の社会課題を考えなければならない。その中で、「誰が、誰の、どんな困りごとを抱えているのか」について、具体的に考える必要がある。
- ・観光地特有の問題である「交通渋滞」に着目し、その緩和と観光客の分散を組み合わせた提案は、これまでにない視点であった。また、実現可能な提案であったと感じた。
- ・地域の気候などの環境状況を参考に、新たな農産物を提案していただいた。こうした特産

品の開発も重要なことだと考えさせられた。

- ・他地域の世界遺産の取組であったり、観光のマナーについて参考にしたりしながら提案がなされていて、深く企画提案に取り組んでいた。
- ・ぎふ立志リーダー養成塾の塾生にふさわしく、互いに質問をし合いながら、互いを尊重し合う姿に感銘を受けた。



日時：8月8日(金)～11日(月)

10

合い言葉とユニフォーム

1 合い言葉

Voice yourself!

自分の意見を遠慮せず、大きな声で発表しよう、仲間に伝えよう！

Lead the way!

リーダーとして先頭に立ってみんなを導こう！

The next big thing...

「次の出番は・・・」また、「次のトレンド、大きな波は・・・」
「・・・」の後は「私たちだ！」という意味が隠れている。

※合い言葉やデザインは学校法人渡辺学園サニーサイドインターナショナル幼稚園の園長先生及び AET の方々のご協力により作成しています。

2 ユニフォーム（Tシャツ）

合い言葉をデザインしたTシャツ



中津川市立加子母中学校 「たくさん学べた養成塾」

参加した理由は、友達と話しててめっちゃ面白そうだなってなって、応募したのが参加した理由です。

活動で心に残っていることは、2日目の白川郷のフィールドワークで、お店の人や観光客の人にインタビューするのが心に残っています。インタビューしてみるとゴミの問題が多いことにも驚いた。

インタビューするのは、結構ゆうきがいることで、最初は聞くか迷ったけど、いざ聞いたら不安な気持ちがどこかに消えたので、そこからはいろんな人にインタビューすることができたので、それが成長したのを実感しました。

僕たちの D グループの企画のテーマの観光と地域住民の両立でそれを基に、企画を考えて、最終的に時間差観光ということになってそこで、白川村に住む人たちの気持ちなどを考える力がついたと思うので、僕が今、住んでいる加子母は子どもの数が少なくなって、若い人があまりいなくてあと10年くらいしたら過疎ってしまうと思っているので、そんな時に、リーダー養成塾で身につけた、そこに住む人たちのことも考えて、いざとなったら企画をつくって提案してみたりと培った力を発揮できるようにします。

この先、どんなリーダーになりたいかは、僕は正直リーダーにはなりたくないです。なぜかという、自分はいあまり人をまとめたりする性格じゃないので、リーダーを支える人になりたいです。それだったら、リーダー養成塾でつけた力が無駄になってしまうんじゃないかと思うと思います。でも、そんなことはせず、リーダーを支える立場だったら、何か困ったりしていたら助けるのは当たり前だけど、それでも悩んでいたたりしていたら、養成塾で学んだことを生かせるの良いなと考えています。

最後に感想で、卒塾生の方が言っていた、家に帰った後に、寂しくて泣いたと言っていて、僕はそれを聞いたときに、それはないだろう~と思っていたけど、いざ最終日でみんなと別れて家に帰ってきたら、泣きはしなかったけど、どこかさみしいなと感じて、卒塾生の方が言っていた話にすごく共感することができた。

岐阜市立岐阜西中学校 「before after」

リーダー養成塾に参加する前の私は、生徒会執行部の中に女子が私しかいないこともあって、周りの人の意見に合わせるタイプでした。そんな私は、積極的にみんなの名前を聞きに行ったり、自分の自己紹介をしたり、「人狼やろー!」と、声をかけている子を見て、「すごいなあ」と思う反面、私も殻を破って、自分を変えなきゃ!と思いました。私の得意なことは、周りを見て行動することなので、Aグループの話し合いで、円に入っていない子に、「意見ある?」などと聞いて、みんなが参加できるような話し合いにすることを意識していました。

私が1番心に残っていることは、塾長の講義と担当者の方の言葉です。

塾長の講義では、勝者と敗者の違いや、先生などに「これやって。」と、言われた時に、「はいっ。」と言うか、「えっ。」と言うかの違いで、自分に積みあがっていく経験の大きさが変わることを学びました。

担当者の方の話では、「話し合いが熱くなっている時に、見えていない部分はないか。」という言葉が印象的で、話し合いが盛り上がっている間は、周りがあまり見えていなかったなと思えたからです。

4日間を通して、私は「なんで?」と考えることができるようになりました。それは、グループの中の話し合いが違う方向に進みそうになった時に、Aグループで、「移住の推進」のテーマに対する課題について話し合っていた時、「何で課題があると思う?」、「どうしたら解決すると思う?」と、卒塾生の方が話し合いを止めて、考える時間を作るようにアドバイスしていただいたことがきっかけです。ふと立ち止まって物事に対し

て、「何でだろう」という想像力を働かせることによって、物事の背景が見えてきて、内容の濃い発表に繋がったと思います。

これからの人生で、話し合いをしていく上で、意見が対立することがたくさんあると思います。そんな時は、相手側の立場に立って、「何であの人はそう思うのか？」と考え、最適な答えを導きたいです。

このように私は、周りを見て行動しながら、目標に向かって自分を高められるリーダーになります！

リーダー養成塾で、素敵なみんなと出会え、A グループのみんなと2人の卒塾生スタッフさんと、最高のプレゼンを作り上げることができて、達成感でいっぱいです。

各務原市立川島中学校 「せいちょう」

私は、初めてリーダーとなって、周りよりおとって、まだスタート地点にも立っていないような事だったから、リーダーとして大丈夫なように自信をもてるように、みんなを引っ張っていけるように、ついてこれるようになりたくて応募した。

一人で悩むことはないことを知った。

いろいろなリーダーがあつていいことを知った。

ファーストペンギンで、最初にやることを知った。

僕は、今まで人に迷惑をかけないように一人でできると思いやって失敗して繰り返し続けていたけど、人に頼っていいと知った。そしたら、結構いろいろ進むし、いい方向へいった。

僕は、みんなを引っ張ったりなどの中心にいて、それを回せなきゃいけないと思い込み、それをしようと思っていたけど、できていなかった。けど、僕には、もっとかえればできると知った。一つの事のみでつっぱして壁にぶつかりつづけていたけれど、別の道を知ったし、それで壁は薄くなったら、楽に進めれるようになった。

僕は、一番最初があまり好きではなかったが、進むことにした。そしたら、みんなもついてきてくれたりした。呼びかけを最初にしたら、一瞬でみんなも呼びかけをしてくれた。一歩が踏み出せなくても、誰かが来ると思ったら、踏み出せるようになった。

僕は、全員が楽しくなるようなリーダーになりたい。ルールとかも全員が賛成できるようにしていきたい。乱れたら、まじめな人が楽しくないから、乱れないように楽しくしていきたい。

後期にリーダーになれないかもしれないけれど、ファーストペンギンはなんでもできるから、一番に何かをやることを頑張る。

悩みこむこともよくあるけど、一人で解決しようとしな。みんながついてきてくれるから、大丈夫。だから、これからも大切にしていきたい。

最初は、スタート位置にも立っていないと思っていたけど立っていたネガティブなだけだったって気づいた。自信がついた。

僕は、これからもリーダーとして立候補して、学んだことを武器にして、立派なリーダーになれるようにします。

私はこの研修に参加して、とても自分に自信が持てるようになりました。私は学校で生徒会副会長をやっており、上の立場になったからこそ「こういう人になりたい」「こうすればいい」と私に刺激を与えてくれる仲間を求め、この研修に参加しました。

いざ始まると、同じグループのメンバーは、自分から「グループリーダーをやりたい！」と積極的に行動しており、大きな刺激をもらいました。まさに、私の求めていた存在でした。

「そんな人達の中で4日間生活できる！」と、1日目からワクワクし、このメンバーに負けなように頑張ろう！と張り切って研修をスタートさせました。

この研修で特に心に残った言葉があります。それは塾長さんの「何種類もリーダーはある。個性を活かしたリーダーとなる。」という言葉です。私は今まで、リーダーというものは、「あれができる」「こういう人」という条件にあった人だと思っており、みんな同じだと思っていました。しかし、講義を聞いて「人と違っていい」「自分の個性を生かして、自分なりのリーダーになればいい」ということに気付かされました。

私はこれまで、人と価値観や考え方が違うことがあり、自分の意見に自信をもつことができませんでした。ですが、この言葉を聞いて、違う意見でも、自信をもって発信すればいいし、私は私らしいリーダーでいいんだ、自分のやり方を貫いていいと思えるようになり、そこから積極的な行動を取れるようになりました。

フィールドワークでは、自分から観光客の方にインタビューをしたり、企画提案の時には、意見を積極的に発言することができました。企画提案では、たくさんアイデアが出てまとまらないことがありましたが、私はその時、「アイデアが目的に合っているか」を大切にしながら、少し違った角度の意見も発言することができました。そうすることにより、レベルの高い話し合いを進めることができました。

しかしその後、本当に自分の発言は良かったのか？グループの雰囲気を壊してしまったのではないかと、という疑問も生まれました。

そんなことを考えていると、大学生スタッフの方から「目的を見失いそうになった時、メンバーに声をかける姿は、企画を具体的に考えるきっかけとなっていたよ！」という言葉いただきました。私はその言葉を受けて、自信がもてました。反対意見を言うのは怖かったし、周りの目を気にするなど、自分の行動をネガティブに捉えていましたが、その行動は間違っていなかったんだと、認めてもらえたような気がして嬉しかったです。そんな貴重な経験ができ、私は自分に自信がもてるようになり、成長できました。

これからは、この経験を活かし今後の生徒会活動や、リーダーとしての成長に繋げ、さらに理想のリーダー像に近づけるようにします。そして、自分自身を成長させ夢を叶えていきたいです。

研修の4日間を思い返すと、長いようで短いとても幸せな時間でした。このメンバーに出会えたこと、私に刺激を与え成長させてくれたこと、これは私の人生の宝物です。今回の貴重な経験を与えてくださった方々に、さらに成長した自分を見せ恩返しができるよう、これからも色々なことに挑戦していきます。

土岐市立肥田中学校 「ぎふ立志リーダー養成塾で変わったこと」

私がこの合宿に参加した理由は、自分以外の考えが知りたい、普段は出来ない体験をしてみたいと思ったからです。そして、この活動を通して、自分の考え方が変わりました。

その一つが、リーダーへの考え方です。私は、リーダーは自分で立候補をしてなるものと思っていました。しかし、「リーダーはつくられるものではなく、出来ていくもの」という塾長の言葉を聴いて、ものすごく自分の中で納得しました。確かに、私のクラスの中でもリーダーはこの人というのが出来ていると感じました。さらに、塾長は話の中で、「リーダーはいろいろあっていい、リーダー像は一つではない」とも言っていました。私は、リーダー像という「みんなを引っ張っていくもの」だと思っていました。でも、どんなリーダー像でも正解はないということも気付かされました。私は、リーダーっぽくないリーダー」と言われたことがあります。それは、自然と雰囲気良くなって、知らず知らずの間にまとまっていっているということや、みんなからアイディアを引き出すのが得意ということらしいです。それは、悪い意味ではないと分かっていても、リーダーに見えないと言われているようでした。でも、気付かされてからは、いろいろなリーダーがいていいと前向きに考えられるようになりました。なので、これからは、この二つのリーダーについての考え方を踏まえて、自分らしいリーダーになれるようにしていきたいです。

そして、もう一つが人生をどのように生きていくかへの考え方です。私は、自分の世界を広げ、いろいろな場所へ行きたいと思っていました。そんな考えを考えていた時に、チームビルディングや講話、地域課題への企画提案を通して、自分の中にはなかった考えを知ることが出来たり、思ってもいなかった体験が出来たりしました。それらの体験をしてから、もっと違う場所へ行ってみたいという思いが強くなりました。

私は、この合宿を通して変わったことを生かして、自分の考え方を他の人にも伝えていったり、自分の軸として生活したりしていきたいです。世界は広くて、私はその中で、少しの考え方しか知りません。だからこそ、この合宿は、いい経験になったし、これからいろいろな考えを知っていきたいです。

白川町市立黒川中学校 「これから目指したい僕のリーダー像」

僕は、自分の学校で生徒会長をしていて、「全員が1つの目標に向かって団結できるように先頭で引っ張っていく」リーダーになりたいと思って、チームや意見をまとめる力を伸ばせるようにと、このリーダー養成塾に参加しました。リーダー養成塾での活動を通して、初めて出会った人と1から企画案を創り上げるのはすごい難しいことだと分かったし、その中で、チームが徐々にまとまっていって、全員が意見を出し合い、疑問点やさらにこうしたらいいんじゃないかと、企画案が成り立っていくのを感じることができました。

僕は、この4日間で最初はあまり周りの意見や考えを見ることができなかった視野が徐々に広がり、企画案について冷静に見直したり、新しい視点で見て、改善点を挙げたりと、自分だけでなく、周りの考えも組み合わせながら、話し合いを進められるようになれました。また、様々な講師の方の話を聞いて、グループワークのときに大切にすると良い事や企画を考えるうえで必要な事など、たくさんを知ることができ、それを地域課題の企画提案のグループワークに生かし、全員が納得できる良い話し合いをすることができました。これを踏まえて、僕は、チームを引っ張っていくために、常に周りを見て、1人1人に寄り添えるリーダーになれるようにしたいです。そのために、自分の目指すリーダー像を常に心に置き、この4日間で学んだこと、培った力を学校や地域の向上につなげていけるようにしていきたいです。また、僕は、塾長の講義の中にあつた、失敗をするからこそ成長するという話が心に残っていて、最初は、失敗をすることによって

得られる成長が何なのかあまり分からなかったけど、失敗したからこそ、次のチャンスに備え、つなげられることができるし、失敗した理由をたどることで、原因を理解することができ、次の成功、成長につながっていくということが分かりました。「失敗」ときくと、マイナスなイメージが思い浮かびがちですが、とらえ方によっては、次の成功、これからの成長に生かすことができる大切でプラスなことだとも考えられます。なので、僕は、これからの学校生活、失敗を恐れずたくさん挑戦し、リーダーとしても、人としてももっと成長できるようにしていきたいです。

中津川市立坂本中学校 「リーダー養成塾と私の成長」

私は、小・中と6年間ほぼ同じ仲間と過ごしてきました。中学生にもなると、みんな顔見知りで、知らない人と話すことが少し苦手になっていました。

高校からは、みんなバラバラになってしまうし、初めましての人と仲良くなれるようになりたいと思っていたときに、先生から渡されたのが、リーダー養成塾の案内でした。3泊4日しっかりやれるかなど、不安もありましたが、自分を変えたい、挑戦したいという思いが強かったので、参加することにしました。参加した中で、心に残っていることが1つあります。

それは、人との関わりです。これは、1番不安に思っていたことでした。しかし、バスの中から自己紹介や交流をし、チームビルディングやグループワークで、積極的に意見を出したり、話し合ったり、活動以外でも交流をし、少し前まで知らなかった人たちがまるで前から知り合いだったように感じました。また、活動中サポートをしてくださった卒業生スタッフの大学生とも交流したり、大学の話や将来の話を聞いたりすることで、積極的な関わりができました。

人との関わりをして、苦手になっていた初めましての人と話すことができて、少しだけ自信をつけることができました。また、関わる中で、周りを見て気を配ることや、相手のことを考える力も成長できたと感じます。

ここで学んだ人との関わりは、高校生になったとき、初めましての人とたくさん話をして、より仲良くなるということに活かしていきたいし、残りの中学校生活でも、同学年の人と関わったり、他学年とも関わったりすることや、話し合いで、みんな意見を言っているかなど気を配ることなどをしていきたいと思います。

また、このリーダー養成塾で一緒になった仲間とも、これからも交流し、縁を大切にしていきたいと思います。

白川村立白川郷学園 「自分らしいリーダー」

私は、小中学生121人が共に生活している義務教育学校「白川郷学園」の生徒会長をしています。ずっと同じ仲間と同じ環境で過ごしてきて、「みんなが憧れるようなリーダーってなんだろう」、「今の自分はリーダーとしてふさわしいのだろうか」など、リーダーに対する不安があり、自信がなくなっていました。そんな自分にとっての答えが見つかり、リーダーとして変われるチャンスである養成塾に参加したいと思い、応募しました。

私は4日間で講師の方からのお話やグループワークなどからたくさんのことを学びました。その中でも、特に、グループワークは自分の成長につながったと思います。

私は、この養成塾を始めるときに、「自分から」の行動を目標にして取り組みました。でも、自分が思った

よりもうまくいきませんでした。私のグループには、全体の意見をまとめる人、たくさんアイデアを出す人、1歩離れてみて意見を出す人など、それぞれ自分の得意な場面で活躍している人がいました。ですが、自分はその中で、賛成したり、頷いたりすることしかできずに、自分はリーダーには向いていないんじゃないかと、とても不安になったまま、2日目が終わりました。

そんな中、私の心に響いたのは、塾長のお話です。「何にでも挑戦してみよう!もし、失敗してもそれは自分の成長につながる!」という言葉が、私の心に残りました。この言葉を聞いて、失敗から目を背けず、失敗してそれを自分の成長に繋げればいいと思い、「自分の意見に遠慮せず、どんなこともやってみる!」という気持ちで3日目に臨みました。その結果、自分も積極的に話し合いに入ることができ、自分も仲間と共に創り上げていくことができました。だからこそ、最後の達成感や喜びはとても大きかったです。

また、4日間を通して、自分のリーダーに対する答えを見つけることができました。自分は自分らしいリーダーになりたいです。人によって理想のリーダーは違います。私についてくる人もいます。だから、きっと人によってリーダー像は違って、その答えには正解がないと思います。でも、そのついてくる人にとって、頼れるリーダーになりたいです。まだ自分の中で理想のリーダーにはなれていません。でも、これからも努力や挑戦をし続け、自分らしいリーダーになりたいと強く思いました。

大垣市立西部中学校 「未来の自分へ」

まず、このリーダー養成塾に参加した理由は、好奇心です。学校で配られたときに、「やってみようかな」と思い、応募しました。はじめは、この塾で「ついでに、リーダーについて知っておこうかな」程度に考えていました。私が、塾開始時に思い描いていたリーダー像は、「約束のネバーランド」というアニメの主人公「エマ」です。彼女は、全体をまとめるだけでなく、多くの人を巻き込むようなリーダーです。少しでも、彼女のようなリーダーになれるように、駅についた時点から、積極的に声をかけることを頑張りました。私が特に心に残っているのは、義務教育総括監のお話に出てきた、「理想の自分と今の自分を見つめられているか」というものです。これは、自分だけでなく企画提案でもあてはまりました。私たちが思っている問題。それを踏まえて、どんな姿になりたいのか、しかし、現状はこうなっている、では、こんな解決策がある。と、理想と今の比較をするだけで、より理想に近づくことができることに気がつきました。自分に当てはめてみると、理想は「多くの人を巻き込んで全員参加できるようにするリーダー」しかし、今は、「周りが見えていない」、「一つの仕事に集中してしまう」という課題がある。だから、自分がやるべきことの優先順位をつけて効率よく仕事をするという解決策を見つけた。と、多くの場面で比べることは、大切になってくるスキルの一つだと考えました。私は、この養成塾で、学んだことを実践する力がのびたと思います。強く実感したのは、地域ボランティアで活動していた時です。企画を創るときに、行き詰ってしまったことがありました。そこで、一度立ち止まって、再度、決まったことを確認し、自分たちがやらなければならないことを把握しました。そうしたことで、分からなかったところが明確になり、ゴールにたどり着くことができました。

企画提案で、仲間たちと生み出したものを、日常生活で生かしたこと、それが、成功したこと、本当にうれしかったです。これから先、私はリーダーとして活動することが多くあると思います。おそらく、多くの方は、「リーダーは先頭に立っているべき人」と考えます。リーダーの役割によっては、そのような人もいます。しかし、私は、そうしたことで、失敗経験があります。失敗をそのままにするのは、一番してはいけないこと。だから、私は、「先頭に立つリーダー」ではなく、「周りと肩を並べて歩くリーダー」になろうと思います。集団で歩く

とき、前に立ってはいは、周りが見えません。かと言って後ろに下がっても、おいていかれてしまいます。周りと一緒に歩くことで、周りが見渡せる、足並みをそろえるよう声もかけやすいというよさがあります。自分が苦手なことは、自分がやりやすい方法を探して「できる」ようにすればいい、私はそう考えます。人には、向き不向きがあるので、自分ができることを精一杯、全力で取り組んでいきます。これからも、成長し続けることをここに誓います。

山県市立美山中学校 「友と進む楽しさ」

僕は、このリーダー養成塾を学校で先生が休み時間に、「これ、行ってみん?」と、教室にお勧めしに来たことがきっかけで知りました。抽選でしかも、ご飯がとてもおいしいとのことだったので、せっかくだからと、参加してみようと思いました。ぶっちゃけ、どっちでもよかったのですが、当選したとのことだったので、楽しみにしていました。

そして、リーダー塾のしおりが届いたとき、僕はとても驚きました。何と2年生が僕を含めて2人しかおらず、残りの22人が皆3年生だったのです。僕は、ここでやっていけるのか・・・、と思いながら迎えた当日、僕はまたしても驚きました。皆、初対面のはずなのに、なぜかもうすでに、仲良くしゃべっていたのです。すごいなと心の底から思いました。そのときに、強い憧れを持ちましたが、抱いていた不安や心配も吹き飛んだ気がしました。

僕が目指すリーダー像は、楽しむときは楽しませ、やるときは真剣に楽しませることができるリーダーです。ただ、何をすればいいか、正直分かりませんでした。そこに、塾長や講師の方の講話や、同じリーダーとしての志を持つ仲間の姿を受けて、何をやればよいか、分かった気がしました。仲間の姿こそが、僕の目指すリーダーでした。皆は、まず相手を知ろうとして、気遣ったり、褒めたり、とにかく優しくかったです。この優しさが、大切なだと学びました。僕は、たいしてすごくないので、姿で引っ張るリーダーよりも、仲間に寄り添うリーダーの方が簡単になれると思います。そのためにも、優しさを学んで、今後にかしたい!と、考えました。

皆との作業やその他の生活は、とても充実していて楽しいものでした。特に、企画の話し合いは楽しかったです。楽しいと、自分の意見もちゃんと言えました。自分の意見を発表し、相手の意見を聴き、それを組み合わせ、より良い意見が作られていくのも楽しかったです。ここにも、皆の優しさが隠れていました。

僕は、このリーダー塾でたくさんの友だちができました。友だちであり、仲間でもあり、先生でもあるんじゃないかと思います。教わるのがたくさんありました。卒塾生の皆さんも優しくかったです。みんな優しくかったです。この優しさを得るにはまだ少し時間が必要ですが、みんなとの、このリーダー塾での経験を思い出し、頑張っていきたいです。今年の後期は、生徒会をやってみようと思います。頑張りたいです。

何事も、ファーストペンギン目指していきます。

本当にありがとうございました。楽しかったです。最高の思い出になりました!!!

美濃市立美濃中学校 「四日間から得たこと」

私がこのリーダー養成塾に参加したきっかけは、学校で生徒会として活動していた時に、学校の先生から岐阜立志リーダー養成塾のチラシをもらったことです。より自分の強みを持っておきたかった私にとってはこの活動に参加することでリーダー性だけでなく積極性や人としての成長など今後壁にぶつかった時に必ず役に立つようなことが学べるのではないかと思います。思い応募をしました。

私がこのリーダー養成塾を通して学んだことや成果は二つあります。

一つ目は、「その行動の目的を明確にすることの大切さ」です。プログラムの中に講義を聞いた感想や気づきを付箋を使って交流するという活動があり、これはその活動の中で気づかされたことです。わたしは、実際にこの活動を通して白川村の現状を自分事として捉えられるようになり、問題を明確に知ることができたからこそ地域全体の問題だけに重視するのではなく住んでいる人にとって何が最適なのかということも考えながらグループワークを進めることができました。また、講義をしてくださった義務教育総括監さんは「リーダーとしてただ仲間にこれをやってほしいと言うよりもなぜそれをしなければいけないのか、その活動をする理由や利点を示すことで相手のやる気を出すことができる」と話していて、確かに目的が分からなかったら「やろう」という気持ちになることができないなと共感しました。

二つ目は、グループワークの中で積極的に話を進めることができたということです。リーダー養成塾に参加した初日は、自分から積極的に挙手や交流に参加することができず、明日は自分が仲間に刺激を与えられるような行動をしたいと思っていました。そこで、二日目のフィールドワークで仲間とどこに行くのか、誰にインタビューするのかなど自分からグループの計画を提案していきしました。すると、他の子からも予定を提案してくるようになり、グループでの信頼関係を築くことができました。そして、仲間との関係を築けたからこそ二日目からのグループワークからは自分が今思っていることや考えていることをすべて伝えていこうと思えるようになり、自分から積極的に話を進めたり提案することができました。また、自分がそのような行動をしているうちに仲間からも「この企画での問題点はどう改善しよう」などと相談して、頼ってきてくれることが多くなりました。

元々学校外の人と打ち解けたり自分から話しかけに行くことが苦手で、学校の中でもリーダーという役割をしているけど自分の意見が通せるようになるまでに時間がかかってしまうことが多くありました。ですが、このリーダー塾では自分と同じように学校でリーダーとして活動している仲間だったからこそすぐに信頼することや打ち解けることができて、学校と同じように自分の意見を積極的に出してより良い企画を作り上げることができました。私は、この経験から今までより自分の積極性を磨くことができたと思います。また、講義を通して今まで見ていた視野が狭かったんだなと気づくことができたので今回の企画や発表では今まで考えてこられなかったような視点から企画の提案をすることができました。

私は、この四日間で仲間をすぐに信頼することができたからこそ有意義な四日間を過ごすことができました。なので、これからは自分自身が仲間から信頼され、関わりやすいリーダーになりたいと思います。また、学校生活の中で生徒会として動くときには、「なぜこのキ

キャンペーンをするのか」「この取り組みをすることでどんな効果があるのか」というような目的を明確に表示することで最終的には全校生徒が一つの目標に向かって成長できるような学校を作り上げていきたいです。

最後に、塾長さんから問われた「失敗せずに生きたい」ということの私なりの答えを考えました。それは、「失敗せずに生きていく」というのはなかなかできることではないということです。失敗して苦戦しながらも時間をかけて自分なりの答えを見つけていくことでより成功をうれしく感じるができるし、失敗したときの悔しい気持ちがあるからこそ次の目標を具体的に考えることができると思います。このリーダー養成塾は人生にとってとても大切な四日間になりました。本当に参加することができて良かったです。これからはどんな環境でも「自分から相手に刺激を与える」というような姿勢で生活していきます。ありがとうございました。

山県市立伊自良中学校 「リーダーの在り方」

私は、リーダーとして、自分の考えを分かりやすく伝える力を伸ばしたいという思いから、ぎふ立志リーダー養成塾に参加しました。これまでの私は、自分の意見が人にどう思われるかを気にしたり、自分の考えをあまり分かりやすく伝えることができなかったことが多くあったと感じていました。なので、今回の養成塾では、自分自身の考えを自信をもって伝えられるリーダーを目指して活動することを心がけました。

活動の中で、特に印象に残ったのは、グループワークで白川郷の地域課題について話し合った時間です。私たちのグループでは、「観光と住民生活との両立」というテーマで地域の課題と向き合いました。最初のうちは、グループがうまくまとまらず、意見がばらばらになってしまう場面もありました。それぞれが自分の考えを主張するばかりで、なかなか共通の方向性がみえず、議論が空回りしてしまっていました。私自身も、「自分の意見を伝えたい」という思いが強くなりすぎて、相手の話を十分に聞けていなかったことに気づきました。しかし、卒業生スタッフの方がアドバイスをしてくださったり、話し合いを重ねる中で、お互いの考えを理解し、共通点を見つけることの大切さに気付くことができました。みんなが話しやすい雰囲気をつくることを意識しながら、意見をまとめたり、相手の意見を認め合ったりすることで、チームが一体となっていったのを感じました。その甲斐あって、自分たちの発表は、チーム全員が納得する素晴らしいものにできました。他の活動でも、チームの仲間からは、本当にたくさんの刺激をもらい、心に残る体験となりました。特に、荻町のフィールドワークでは、チームのみんなの明るさがあったからこそ、私も積極的に観光客の方に取材することができました。さらに、外国人観光客の方には、英語で取材しました。私は、英語があまり得意ではなかったため、取材は難しかったですが、仲間に助けをもらいながらも、なんとかやり切ることができました。自分の苦手なことにチャレンジできたことは、とても良い経験になったと思います。

この養成塾での経験を通じて、リーダーとして大切なのは、自分の意見を「伝える」力だけでなく、仲間の意見を「聞く」力だと感じました。お互いの意見をすり合わせ、全員が納得する答えをチームで導き出す能力こそ、リーダーに求められる力なのではないかと思っています。そして、そのためには、自分の意見を自信をもって伝え、仲間の考えをしっかりと聞くことができるような雰囲気作りも大切だと気付かされました。塾長の講義にもあったように、「明るく、楽しく、元気良く」、「前向きに物事に取り組み、変化と進化を繰り返していく」ことを心がけることで、チームが自然と良い方向へ進んでいくことを実感しました。

今後は、この養成塾で学んだことを活かし、リーダーとして、チームの中で前向きな雰囲気を作り出し、

相手の意見を積極的に聞きながら、共通の目標に向かって躍動していきたいと思います。そのためには、まず、自分が前向きで、積極的な姿勢を持ち続け、周囲の仲間も、その影響をうけて一緒に躍動できるようなリーダーになりたいです。これからの学校では、学年の枠にとらわれないコミュニケーションを大切に、自分の目指すリーダー像を実現させていきます。塾長のモットーの一つである「信じて、ブレずに、最後まで」全力で取り組んでいきたいと思っています。

鶯谷中学校 「理想の自分」になるために

僕がこのぎふ、立志リーダー養成塾に参加した理由は、リーダーとしての自分をもっと成長させなければならなかったからです。参加する前、僕は学校生活でリーダーとして活動する中、うまく意見をまとめられない、みんなの前で話すのが苦手だ、など課題が多くありました。自分の姿を見つめ直してみると、こんなリーダーについてこう思ってくれる人はいるのだろうかと強く悩んでいました。自分の中にある課題を改善し、みんなをひっぱっていけるリーダーに変わるために、この養成塾に参加しました。

今回の養成塾を通して、グループワークの中でのリーダーシップの大切さ、協力して何か1つのものを作り上げることのおもしろさを知りました。同じ目標や志をもった24人が集まると、自分1人では気付けない課題を発見できたりなど、あらゆる方向からの見方があることの必要性を強く実感しました。さらに、講師の方々からの講義や自分たちの実践の場で、リーダーは周りの人を上手に巻き込み、自分から行動して、1人1人の思いを実現できる人のことだと分かりました。いつでも方向転換できる柔軟性を持ち、様々なことをフレキシブルに取り入れることがカギになることを知り、その後のプログラムで意識して行動できました。僕は、塾長からのお話で、心に大きく響いたものがあります。「失敗＝成長」というフレーズです。「失敗と書いて成長と読む」という言葉で、失敗しないようにいつも完璧を目指す、という僕の中での考え方に、失敗することほど、僕を成長させてくれるものはない、というポジティブなものをプラスしてくれたのです。

白川村の地域課題プロジェクトでは、グループで1つの案を発表しましたが、その過程は思った以上に大変でした。1人1人が熟考した案を取り入れながら作成する中では、リーダーシップを特に試されている場だと思いました。3日目はほとんどがグループで企画を考える時間でしたが、仲間と議論を深めていくうちに、他人の意見を取り入れ、より良い企画にしてゆく力がつきました。柔軟に物事を考え進めることの大切さに気付いた瞬間でした。そして、グループワークを通して気付けたことがもう1つあります。それは、人に助けを求めるのは“恥”ではないということです。自分1人で抱え込んでも上手く全体と共有できなかったりして、心の余裕がなくなってしまいます。そこで、自分の意見を思い切って言ってみて助けを求めてみると、息づまった視野が広がった気がしました。

僕はこの4日間を通して、自分の目指すリーダー像がはっきりと決まりました。みんなが“この人なら安心して任せられるという信頼があり、自分の言ったことはしっかり受け入れてくれるという安心感をもった人”になりたいと思っています。また、帰宅した後、1人1人のリーダーが目標に向かって進み続け、24人それぞれ違う個性をもったリーダーが生まれたら、どんなに素敵なことなのだろうと、しみじみ思いました。普段の学校生活では得られない刺激を沢山受け続けた4日間。ここで学んだことはいつか必ず、人生のどこかで役に立つと思います。僕たちを支えて下さった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を通じて得たことを、今後の学校生活に大いに生かしてゆき、様々な場で大きな活躍ができるような、立派なリーダーになってみせます。

養老町市立高田中学校 「理想のリーダーに近づくために」

私が、ぎふ立志リーダー養成塾に参加した理由は、両親に勧められたからです。また、夏休み明けに、自分の学校で生徒会選挙があり、その際に何か参考になることがあるかもしれないと思ったことと、自分の理想のリーダー像である「みんなについてきてもらえるリーダー」に近づくために、みんなの意見を尊重したよりよい考えを生む力を伸ばしたいと思ったことも理由としてありました。

私は、4日間の活動を通して、物事を客観的にみることを1番に意識しました。

日頃の学校の話し合いでは、意見があまり出ないことから、自分が考えを話すだけで終わってしまうことが多くありました。ですが、養成塾でのグループワークでは、1人1人が自分の意見を持っていたので、話し合いでは、様々な個性をもった意見が飛び交っていました。自分から意見を出している時は、そこに自分の視点が集中してしまって、周りを見て状況を判断することが難しくなってしまうけれど、養成塾でのグループワークでは、チームのみんなで意見を出し合えたので、視点を大きく、広くして、この考えには実現の可能性はあるのか、どの意見を組み合わせればよりよい案に仕上がるのかなど、グループ全体でのまとまりを意識しつつも、1人1人の意見を組み込んだ案を考えることができました。客観的にみることによって得られる課題や不明点をさらに改善して、自分たちの案を磨いていくこともできました。

4日間の活動の中で1番心に残っているのは、1日目の塾長の講義です。私は、塾長さんに、「みんなについてきてもらえるようにするためには、どうすればいいか。」と、お聞きしました。

理想のリーダー像になりきれていないと思っていた私は、どんな答えが返ってくるんだろうと、ドキドキしていました。そして、返してくださった答えは、「最初から全員についてきてもらわなくてもいい。少しずつ味方を増やしていくんだ。」というものでした。

確かに私は、「最初から全員についてきてもらわないといけない」、「全員が自分に賛成してくれないといけない」と、思い込んでいました。1回の主張でたくさんの人に認めてもらわなければならないと自分を追い込んだせいで、逆に、認める側の立場のことを考えられていなかったのではないかと思います。

しかし、塾長さんのお言葉を聞いてから、自分1人でたくさんの方を増やすという手段もあるけれど、自分で増やした味方に、また私の味方を増やしてもらうという新しい手段もあることに気づけました。これからは、自分1人で抱えるのではなく、少しずつ周りに振りまいて、またその人たちに振りまいてもらって、じわじわと自分の味方を増やして、最後には全員に納得してもらえて、ついてきてもらえるリーダーになりたいです。

今後の日常生活において、私は、客観的にみる力を、様々な場面で活用していきたいです。例えば、話し合いの際に、自分の意見を別の人だとして聞いたときに本当に納得してもらえるのかを考えながら発言したり、意見がうまくまとまらないときは、広く、大きな視野で見つめ直し、まとまらない原因を探ったりすることです。

この4日間で、自分の考え方を大きく変えることができました。本当に楽しくて幸せな時間でした。参加できてよかったなど、心から思っています。24人の仲間、卒塾生スタッフの皆様、担当者をはじめとする、ぎふ立志リーダー養成塾に関わるすべての皆様に感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

恵那市立恵那西中学校 「濃厚な三泊四日！！」

私が感じたぎふ立志リーダー養成塾の良いところは、「同じ志の仲間が集まり」「リーダーはどのようなものか」を学習でき「大人の経験を聞ける」、という三つです。

特に、親以外の「大人の経験を聞ける」は、とても参考になりました。人生を通して出した答えをまだ成人していない私たちが知れるのは大きなメリットです。例えば、行き詰まった時、友達と喧嘩した時に聞いた話が生きてきます。何をするのがいいのか、どうした方がいいのかを聞いた話をヒントにしながら考えることができるのです。

他にもいいことは沢山ありました。同じ志の仲間が集まっているのは凄いことです。いつもの塾や学校の友達とは違う、学校を超えた交流ができるのです。そんな機会があるのがぎふ立志リーダー養成塾です。グループワークの時間をぜひ経験してみてください。恐ろしいほどに早く、正確に終わっていきます。そして、終了後の爽快感がすごいです。3泊4日のリーダー塾ですが、4日間だけのつながりではありません。リーダー塾が終わった後も楽しい友達との交流を続けることができます。私も今、この原稿をぎふ立志リーダー養成塾で知り合った友達と連絡しながら書いています。友達できるか心配!と言う人も安心してください。気がつけば殆どの人と喋れるようになっていると思います。

もちろん、ぎふ立志リーダー養成塾なので、リーダーの勉強もします。「あなたの思うリーダーとはなんですか」これが最初のテーマです。自分はどのようなリーダーになりたいのか。ここが一番成長する場所です。来る前と来た後では、より具体的に、何をすれば良いのかが明確になっていると思います。

自分は、どんな失敗をしてもそれが経験値となり、今後の人生に必ず役立つと分かったのでこれからは迷ったら挑戦する道を選ぶと思います。

終わった今では楽しかった思い出しかありません。ぜひ参加してみてください。楽しい思い出と一緒に自分を成長させることができます。

土岐市立泉中学校 「ぎふ立志リーダー養成塾での経験を通して」

私がリーダー養成塾に参加しようと思ったきっかけは、学校の先生から、案内をもらったことでした。初めは、参加しようか迷っていましたが、家族の後押しもあり、参加することを決めました。また、私は、中学校で生徒会長を務めていたこともあり、他校のリーダーと関わってみたいという気持ちもありました。「よりよいリーダーへと成長したい」、「でも、私にはできるのだろうか・・・」という、期待と不安が入り混じった状態で当日を迎えましたが、バスの中で、仲間が、明るく優しく接してくれたことが本当に嬉しかったし、すぐに打ち解けることができました。養成塾では、多くの経験をさせていただきました。どの活動も本当に楽しかったし、タメになるものばかりでした。例えば、塾長の講義の中で、様々なリーダー像についての話がありました。「リーダー」といっても、1つのリーダー像があるわけではなく、あるべきリーダー像は人それぞれだという話が、私にとって「自分の理想のリーダー像は何だろう?」と考えるきっかけになりました。また、義務教育総括監の講義の中で、リーダーの役割についての話があり、とても勉強になりました。他の方からも、タメになる話をしていただけて、考えをアップデートすることができました。その中でも、特に心に残った活動は、やはり「地域課題への企画提案」です。私たちのグループは、「移住の推進」をテーマに話し合いを進めていました。初めは、遠慮して、あまり自分から意見を言うことができませんでしたが、徐々に発言できるようになり、最終的には、自分から話を広げていくまでに成長しました。難しいテーマだったので、話し合いが行き詰

ってしまうことも多く、私はどうしたら良いか分からなくなっていました。それでも、何とか話を続けていると、解決の糸口が見つかって、話し合いが良い方向に進むことができました。私は、仲間の役に立てたことがとても嬉しくて、もっと頑張ろうと思えました。また、私が困っているときに、仲間が助けてくれたり、卒業生スタッフの方が、アドバイスをしてくださったりしたおかげで、企画提案の準備を進めていくことができました。準備がギリギリになってしまい、間に合うか不安でしたが、グループの仲間全員が協力し、無事、企画提案を成功させることができ、心の底からほっとしました。達成感と充実感がすごかったし、今までの苦労を思い出して胸がいっぱいになりました。私は、この活動を通して、多くのことを学びました。「仲間に頼ることの大切さ」、「話し合いの進め方」、「全員で1つの目標に向かうことで絆が深まり、1人では難しいことも、仲間となら乗り越えられること」など……。今後の学校生活に活かしていきたいと思います。私は、様々な活動を通して、自分の理想のリーダー像を探してきました。そして、現時点での理想のリーダー像にたどり着きました。それは、「一人一人の心を動かし、目的を達成するために行動し、結果を出す、仲間の気持ちに寄り添えるリーダー」です。このリーダー像に近づくために、生徒会活動を進め、全校を良い方向へ導いていきたいです。日々の活動に勤しみ、学校生活を豊かなものにしていきます。生徒会長として、全校のために頑張ります！養成塾での経験と、そこで出会った仲間は、私にとってかけがえのない財産となりました。3泊4日という短い期間でしたが、それ以上に濃い時間を過ごすことができました。この経験を胸に、日々を大切に過ごしていこうと思います！！

岐阜東中学校 「最高の仲間と目指すべきリーダーとは」

私は、学校の先生から“ぎふ立志リーダー養成塾”の応募用紙をいただき、県内の多くの市町村から集まるそれぞれの学校のリーダーの人たちと話し合い、企画提案するという内容を見て、とても興味がわいたので、すぐに応募しようと決めました。最近、学校では人の意見を尊重するあまり、自分の意見を大きな声ではっきりと言えていないと自覚していましたが、そんな自分を変えられずにいました。そこで、自分を変える一歩として、この塾では学校と違って自分の意見をはっきりと発表し「目指すべきリーダー像」を考えようと決意しました。

トヨタ自然学校に到着し、塾生全員が初めてそろって受けた開塾式。お話しされる方への「はい。」「よろしくお願いします。」という声がとても大きく圧倒されました。それとともに、ここは学校ではなくリーダー塾であることを実感させられ、よりやる気が出てきました。

先生方の講義で、特に心に残ったものが2つあります。

1つ目は、塾長の講義です。リーダーとは、1種類だけではないので、塾生24人が24人それぞれ違ったリーダーになれば良いということ、勝者になるためには、目上の人に何かを任せられた時、これまでの私のように「えっ。」と言って後ろに下がるのではなく「はい。」と言って前進し、身を乗り出して挑戦することが大事だということを学びました。また、ネガティブに捉えがちな失敗も「なぜ失敗したのか」、「次はどうするか」を考えることで成長につながる、努力した時間は無駄にはならないという言葉で、私の考え方が180度変わりました。これまでで最も感銘を受けた講義でした。

2つ目は、義務教育総括監の講義です。2本のペンを左右それぞれの手で仲間と持ちながら人間あやとりをするという活動と、1人2つの与えられた情報を皆で共有し、答えにたどり着くという活動2つを実際に体験しました。1つ目の活動は、私は苦手で仲間に教えてもらいながらしか成功させることができませんで

した。2つ目の活動は、状況に応じて自分の持つ情報を伝える能力と、私が得意である情報を整理する能力が必要です。私たちのグループは、皆がこの2つの能力のどちらかを持っており、私が地図に皆の出す情報を書き込み、皆が状況に応じて自分の持つ情報を言うタイミングを見計らってくれたおかげで、なんと1番速い5分で終わらせてしまいました。これには、義務教育総括監も驚かれていました。早くできてとても嬉しかったです。この2つの活動を通じて、皆それぞれ能力を持っており、それぞれの活動や目標には、それぞれに適したリーダーがいること、リーダーとは、なろうとしてなるものではなく、活動を通じて信頼されたり強みを見つけて、それを最大限生かすべくメンバー一人一人の心を動かす人が、自動的にリーダーとなっていくことを学びました。これを生かし、グループワークでは、それぞれ持ちよったアイデアをより良いものにするために1対1で詳しく説明してもらったり、意見が対立した時も、メンバーのやる気を高める言葉をかけ、より良い発表ができるよう力を尽くすことができました。

そして、迎えた企画提案発表会。とても緊張しましたが、自分たちの意見を多くの人の前で発表することができました。別のグループでは、他の市町村の成功した例を提示することで説得力を高めていたり、改善策として時間を具体的に出していたり、その改善策のメリットや商品化したときの名前まで考えていて、聞いた人に魅力を感じさせる提案の仕方だったので、これから学校で何かを提案したり、プレゼンをするときに生かしたいと思いました。

私は、この4日間で理想のリーダーや失敗することへの考え方が変わり、また理想のリーダーになるためにやるべきこと、なるべき自分について学ぶことができました。部活の部長として部員をまとめる時、生徒会の副会長として学校をまとめる時、皆により話しかけやすいと思ってもらえるリーダー、またメリットを提示して一人一人の心を動かし、ついてきてもらえるようなリーダーになれるよう心がけていきます。

素晴らしい仲間、先生方、先輩方に出会えたことに感謝し、ぎふ立志リーダー養成塾での経験を心に留めながら、学校の未来、国の未来を拓くため、邁進していこうと思います。

多治見市立陶都中学校 「4日間を超えて」

私が、ぎふ立志リーダー養成塾に参加したのは、自分を変えたかったからです。私は、リーダーという役割についているものの、リーダーに向いていない人間だと思っていました。本気でやろうとすると、自分のことしか見えなくなってしまうたり、自分の意見が上手く通らないとやる気をなくしてしまったり。もっとこうできたら、と自分自身に思う点がいくつもあります。ぎふ立志リーダー養成塾を通して、自分の足りないところを変えることができるのではないかと思います。参加しました。

今、終えてふり返ると、この4日間は自分のやりたかったことがやれた4日間だったと思います。様々な人からの講話をきき、それを実際にグループで企画づくりとして実践をする。上手いかなかったところや、自分のダメなところが出てしまうところもあったけれど、毎日それと向き合うごとに、どんどん改善されていって、自分を変えたいと思っていたところを変えることができました。また、この4日間を通して、今まで自分が気づいていなかったことも学びました。知らなかったこと、その大切さが分かっていなかったこと、それらをたくさん学びました。講話の内容はきっとどこか私の頭の片隅くらいにあったものだけれど、それを1度取り入れて、実践して、するとそれが大切に見えるようになりました。特に、自分が必ずまとめ役にならなくともよいということは、このリーダー養成塾で学べた大きなことです。リーダーという役についているから、まとめ役にまわるべき、ではなくて、必要な役割を考え、動くことが大切だと学びました。「リーダー」ばか

りの話し合いだからこそ、だれもが色々な役につくことができたからだと思います。

ぎふ立志リーダー養成塾に行ったとき、生徒会副会長だった私は、生徒会長を目指しています。全校のリーダーとして、私は今回の経験で得たものを大切にしていきたいです。無理に全体をまとめる人間になろうとせず、自分にできる役割を果たすこと。目的を必ず忘れないこと。仲間の声をよくきくこと。たくさんの学んだことを、まずはここで活かします。私は、4日間をこえて、リーダーとしての道を進んでいきます。

各務原市立蘇原中学校 「養成塾で学んだこと」

私がリーダー養成塾に参加した理由は、塾生の人達や色々な方のお話から学ぶことが多くあるのではないかと考えたからです。生徒会長として活動していた時に、考えなければならないことや悩むことが多くあったため、この塾を通してどう動いたり考えたりするとよりよいかを、学べたらいいなと思ったことがきっかけです。私の目指すリーダー像は、多くの人に信頼されるリーダーです。このリーダー像に近づくために、周りの意見などを上手に取り入れる力や、相手の話しやすい環境をつくることができ、臨機応変に対応できる力を伸ばしたいと考えました。

この養成塾を通して、講話では、議論をする時に、大切にすることや、ポイント、リーダーをする上で重要なことや考え方を学ぶことができました。塾生の人達からは、話のまとめ方や、すぐにやるべきことなどを理解して動くことのできる力を学ぶことができました。私は、副塾長さんの講話の中で、「ないものねだりではなく、あるものを活かす」というお話が心に残りました。新しく何かを生み出すことも良いと思いますが、近くにあるもので考えたほうが、より身近に感じられ、実現できる確率も上がるのではないかと、このお話を聞いて考えたからです。企画提案でも取り入れることができました。また、チームで話し合いをしたりする時や、行動する際に、全員で案を出し合い、どうすれば課題を解決することができるのかを考えたことが心に残りました。仲間の姿を見て、「こうすると良いのか!」と気づく場面や、私もこうなりたい!と思うことがたくさんあって、学校で前に立って話す時も、そのことを思い出して真似をしたりしてしまう程、学ぶことがたくさんありました。卒塾生のみなさんとの関わりもととても印象に残っています。話し合いを進めていく中で、迷うこともあったのですが、その時に私達の意見を尊重しながら、優しくアドバイスをくださったりして、私もこうやって人の相談や話を聞けるようになりたい!と思いました。企画提案の相談だけでなく、大学についての質問にも、とてもいいねいに細かくアドバイスをしてくださったので、この先の進路をより明確に考えることもできました。

この経験から、何かを決めたり、考えたりする際に、様々な視点から物事を見る力が伸びたと思います。私は、これからも、自分の目指すリーダー像や、講話、塾生、卒塾生のみなさんから学んだことを活かし、より成長できるよう頑張りたいと思いました。

とてもあつという間で楽しい時間を過ごすことができ、この塾に参加できて本当に良かったなと感じています。今より成長して、またこのような塾に参加できたらなと思いました。

美濃加茂市富加町中学校組合立双葉中学校 「新たな自分への一歩」

初めは父に勧められて参加しました。僕も参加が決まったとき、いろいろな考え方や意見を学び、今後の委員会活動などで生かそうと考えました。

初日の塾長の講義では、しおりにも書いてある「努力」、「整理・整頓」のところで努力してきたことは捨てるのではなく、他にまわして有効活用することができるから大切だと聞いて、今のうちに自分の努力を重ねたいと思いました。整理・整頓では、失敗したことをしっかり自分の引き出しに整理・整頓しながら入れることで、同じような状況になったとき、落ちついた判断ができると聞いて、これは人間関係や勉強に使える考えだと思い、今からでも使おうと考えました。しおりにはありませんが、「100人中51人の賛成があれば、その後49人と仲間をつれて話せばいい」と言ってもらい、どんな意見にも「あれ?」と思うところがあり、反対する人が出てきたとしても、仲間といっしょにいき、少しずつ進めていけばよいとわかって、これから意見を出すときに仲間を大切にしようと思いました。

チームビルディングでは、同じ目標に向かい、どうしたら速くなるかを話し合うことのできるチームになっていく姿を活動を通して感じました。これは、2日目の義務教育総括監の講話にあったように、チームの中にリーダーがいて全員が速くしようと思えたからできたと思います。リーダーは、メンバー一人一人の心を動かし、一致団結することであまりよくないと思いました。

地域課題への企画提案では、自分の意見や仲間の意見を出し合ってからまとめて1つにしぼり込むというふうに進んでいきました。途中で行き詰ったことがありました。でも、行き詰まる前まで、意見を戻して解決するということがありました。なので、行き詰まったら無理に進めるのではなく、戻ることも大切だと感じました。今の自分は、前の失敗を思い出して仲間に意見を伝えることができるようになりました。また、話し合いの楽しさに気づいたので、より活発な話し合いができるようになったと感じました。

これから僕は、人に信頼され、一つの目標にすべての仲間と向かっていけるリーダーになりたいと思います。ここには、自分が話を聞いていて実際に大切だと思ったことがつまっています。特に、「人に信頼され」では、委員会活動をしているとき以外でも大切なことで、人から信頼されることで人を動かすことができると感じたからです。もし、信頼がない人から「～して」と、頼まれても、「本当に、大丈夫か」と思うてしまうことがあるからです。僕は、信頼してもらうために話にあった「話しかけやすいリーダー」も共に目指していきたいです。そのために、積極的に話しかけることを大切にしたいです。これをする事で「すべての仲間と」もできると思います。これからの人生で仲間といっしょになにかするとなったときには自分から積極的に話しかけて、少しずつでも仲間を増やし、目標が達成できるように頑張ります。困ったときはリラックスしたり、信頼している仲間に聞いたり、今までの経験を思い出してみたり、一度戻ってみたりいろいろな方法を使って少しずつでも解決に近づいていき、進歩できるようにしていきます。当たり前感謝し、前向きに物事に取り組んで周りをまき込んだ大きな物をつくります。

郡上市立白鳥中学校 「学びが変えた私のリーダー像」

リーダー養成塾に参加した理由は、学校の先生から紹介してもらって、おもしろそうだなと思ったからです。先生から話を聞いたり、応募するための紙を見て、とても興味がわきました。私が目指すリーダー像は、相手の希望を考えて、尊重しつつ、自分の意見も言える人です。それに近づくために、チームで話し合いをするときに、相手の話を聞いて、それにつなげながら話すことを伸ばしていきたいと思っていました。

活動において学んだことは、みんなたくさん意見を出していたことです。こんなにも話し合いが活発になることが今までなかったから、正直びっくりしました。でも、そこまで活発に話し合いができたのは、お互いに心をひらいて信頼していたからかなと思います。バスで初めて会った時から、フレンドリーで、チームでたく

さんおもしろい話をして、中でも外の活動でも協力して取り組めたからだと思います。だから、「活発に話し合い」の中でも、楽しくみんなで良いものを作ろう!というみんなが1つの目標に向かえたと思います。

上記のことを踏まえて、私は、集中して話し合いをし、そして自分の意見も言う伸びを実感しました。私は今まで、難しくて固い雰囲気になったら、そこまで関係ない話をして、嫌な空気を和ませていました。でも、それは話し合いになんの影響もないし、逆に話がずれてしまうから、良い方法ではないと思っていました。でも、私は特にチームでの話し合いを通して、そんなのは一切通じないし、絶対に言ったらだめだと思いました。チームの仲間の集中しながら、でも自分の意見を何でも言う姿がかっこいいなと思いました。だから、私もそんな人になりたいくて、別の話はせず、自分の意見を言うときは、前の人とかとつなげて発言することを頑張りました。理由は、自分のいったこととつなげられると、ちゃんと聞いてくれていたんだと思うし、嬉しいからです。

私はこの先、「みんなの意見を取り入れられるリーダー」になりたいです。私は実際、自分の意見を言ったときに、みんながこちらを見てくれて反応してくれたときに本当に嬉しかったし、安心しました。だから、私も仲間と共に考えることができるリーダーになりたいです。この研修で学んだことを普段の意見を言う場や誰かと一緒に作業するときに使っていきたいです。学校では、生徒会や委員会、学級で話し合うときに使えるなと思います。地域の方と話す場面がなかなかないから、すれ違ったらあいさつをして、嬉しい気持ちになってもらいたいです。また、地域に昔から伝わる宝物である伝統文化を私たち若い世代が受け継ぎ、地域が一体となって、これからも協力して活動していきたいです。

可児市立西可児中学校 「一人一人の心を動かすリーダーになるために」

私がこのリーダー養成塾に参加した理由は、2つあります。一つ目は、昨年度リーダー養成塾に参加した先輩が、「良い仲間に出会えるし、楽しいよ!」と勧めてくれたからです。もう一つの理由は、私は、以前リーダーとして上手くいなくて悩んでいたことがありました。他のリーダーの子と関わることで、リーダーについてもっと深く理解したいと思い参加をしました。

リーダー養成塾を通して、たくさん挑戦してみることの大切さを学ぶことができました。挑戦をすれば失敗することもあるけれど、なぜ失敗したのか、次どうすれば失敗しないのかを考えることで、自分の成長につなげることができます。実際に、グループワークのときに、私自身がみんなとは反対の意見をもっていました。最初は、言わないほうがいいかなと思ったけど、ここで挑戦してみようと思い、自分の意見を主張するだけでなく、相手の意見も尊重した話し方で伝えることができ、自分の成長につながったと感じました。

4日間の活動を通じて、私が一番印象に残ったのは、「一人一人の心を動かすリーダー」という言葉です。リーダーとして意見をまとめて一つのことを決めるとき、そのグループの中には、納得できない人がいることも多々あります。そんな時に、相手の立場になって、その人の意見を尊重することで、その人の心を動かすことができるリーダーになれるように、今回学んだことを生かして、また新たな場所でリーダーとして頑張りたいです。一人一人の意見を大切に尊重し、心を動かせるリーダーを目指し、これからもたくさん挑戦をしていきたいです。

最後に、この研修に関わってくださった職員のみなさん、卒塾生スタッフのみなさん、本当に素敵な経験と思い出をありがとうございました。もし機会があれば、次は卒塾生スタッフとして、みなさんに恩返しできたらと思っています。最高の仲間と出会えたこのリーダー養成塾に心から感謝しています!

羽島市立桑原学園 「最高の仲間たち」

僕は最初は、このプログラムにあまり興味はありませんでした。昨年と同じように、何気ない気持ちで、先生に用紙をもらったから応募しただけでした。しかし、それは行きのバスに乗った瞬間に変わりました。親しみやすくも、皆を引っ張っていく仲間たちを見た時に、こんな凄い仲間達と一緒に議論を交わしながら一つのプレゼンテーションを作り上げていくんだと感動しました。

このプログラムの中で、心に残っているのは2つあります。

1つ目は、白川郷に実際に行って、聞き取り調査をしたことです。初めて、人に質問した時は、不安と緊張であまり質問ができませんでした。しかし、観光客や地元の人たちは、みんな笑顔で質問に答えてくれて、少しずつ安心して質問することができました。僕が聞き取り調査で学んだことは、2つあります。それは、事前に質問内容を決めることの重要さと、英語で話しかける時に言ったほうが良い言葉です。

2つ目は、地域課題解決に向けての議論です。聞き取り調査で聞いたことを基にして話し合う時に、お互いがお互いを尊重しながら話し合い、司会をやらされるわけでもなく、自然とやってくれる姿に驚きました。また、僕では思いつかないような意見をたくさん出して、議論が楽しいと初めて思えました。そして、卒業生スタッフの方のアドバイスも参考にしながら、話し合いを進めていく中で、誰もが真剣に考え、話し合っていく姿を見て、学校に帰っても、こんな姿でありたいと思いました。

この2つのことを通して、事前準備の重大さと、決めた訳でもないのに、自然と役割分担することの大切さを学ぶことができました。事前準備では、聞き取り調査で、聞いたことを交流する際に、聞く内容をしっかり決めていなかったせいで、聞いた内容がペアごとにバラバラで少し困りました。

自然と役割分担では、話し合いの時に、目くばせもせず、司会や話し合いの内容をまとめる人、意見を積極的に出す人、話し合いの方向性を正したり、実現可能かどうかを考えたりする人などがすんなりと決まりました。おかげで話し合いがスムーズに進み、困った時も皆で協力して乗りきることができました。

僕はこのプログラムを通して、より周りをしっかり見るできるようになったと思います。これは、元々周りに合わせる事が得意だったのに足して、1人1人がしっかり主張する場所に行ったからだと思います。

僕は、この経験を生かして、学校ではより一層周りを見て行動するだけでなく、皆を引っ張れるようなリーダーになりたいです。まだまだ足りないことはたくさんあるから、これからも、いろいろ経験して成長していきたいです。このプログラムに参加できて、本当に良かったです!ありがとうございました!

大野町立揖東中学校 「かけがえのない体験」

私は、このぎふ立志リーダー養成塾が自分の人生に大きな影響を与えてくれる3泊4日であったと感じています。

当初は、先生の勧めがきっかけで、よい経験になれば十分だろうと考えていました。しかし、実際に参加してみると、自分と同じ立場の人が多く集まり、さまざまな講義を受ける中で、この4日間を通して、自分なりのリーダー像を見出したいと思うようになりました。

特に、印象に残っているのは、D グループでの企画提案の検討と資料作成です。最初は、それぞれが意見を主張し合い、なかなか案がまとまらず、議論が停滞する場面もありました。しかし、全員が真剣に話し

合いを重ねるうちに、企画の候補が生まれ、さらに意見を交わすことで企画がまとまりました。学校であれば、「ある程度のところで妥協する」ことも多いですが、この塾では、誰一人として諦めず、最後まで現実的に実現可能な企画を模索したことが印象に残っています。私自身も、長時間、本気で議論する機会はこれまでになく、大変貴重な経験を得られたと感じています。

また、常に思考することをつけたため、途中で行き詰まることもありましたが、その過程で考える余裕や視野が広がり、目的に沿った思考力、判断力、そして活動に応じて柔軟に役割を果たす力が身に付いたと実感しています。

この経験を通して、私は意見をまとめる力や状況に応じて柔軟に役割を果たす力が伸びたと感じています。今後は、一人で引っ張るのではなく、仲間の意見を引き出しながら、全員で成果を生み出せるリーダーを目指したいです。そのために、学校生活や地域での活動でも積極的に話し合いに参加し、周囲と協力しながら、実践していきたいと考えています。そして、私は現在、MSJ リーダーズに所属しています。身につけた柔軟な考え方と状況に応じた行動力を生かし、積極的に活動して、地域に貢献したいと考えています。また、後期生徒会長にも挑戦し、自分の力を存分に発揮して、学校全体を引っ張っていけるリーダーになります。



～保護者の感想より～

- 養成塾後、生き生きとした表情で、ずっと内容を教えてくれて、とても充実した内容だったことがうかがえました。

仲間と一緒に学んで、笑ったり、助けてもらったり、長い時間を過ごして絆も深くなり、自分自身も成長したと、話してくれました。

新しい友と出会うチャンスを頂けて、感謝しています。スタッフの皆様もありがとうございました。

- 始めに、このような機会を設けて頂きまして、関係者の皆様に感謝を申し上げます。

息子の兄も4年前に当塾に参加させて頂きました。当時はコロナ禍でありオンラインでの受講でした。その中に於いても、内容の濃いプログラムを実施され、大変充実した時間を過ごさせて頂きました。

今回はトヨタ白川郷自然学校での合宿形式で、4日間の共同生活でのプログラムとなっており、息子は大変感激して帰宅してきました。内容の展開が早いこと、時間があっという間に過ぎること、自分と同じような仲間と過ごす時間が楽しいこと等です。

学習メインの中3の夏休みの中に於いて、楽しい思い出となり大いに刺激を受けたようでした。この4日間は、プログラムの他に仲間と寝食を共にすることで、食事の好き嫌いなもの等部屋での雑談の「仲間とのちょっとした事」こそが大切な時間であったと推測します。中でも、グループワークが楽しいようでした。県内に住みながら違う環境にいる同世代の仲間たちとの作業に大いに刺激を受けたみたいです。

帰宅後は、反抗期ゆえに会話が少ないながらも、これまでよりも多く受け答えをするようになり、相手の立場・考えを汲み取る余裕が出来たと感じています。少しずつですが自立心と相手に対する尊重も芽生えてきたと思います。

また、一流の講師陣のアドバイスのおかげで息子の視野がさらに広がったと思います。

私は、彼が問題を解決する体験を糧に進路を決定すると共に、課題を実現するためのプロセスを参考に自身の夢の実現に向け、努力を重ねてほしいと願っています。

ぎふ立志リーダー養成塾の体験は、彼の将来に大きく影響を与えたと思います。今後の成長が楽しみです。ありがとうございました。

- 県内各地から集まった他校生の皆さんや卒塾生スタッフの方々とのやりとりを通じ、多様なものの考え方・見方に触れ、視野が広がったように思われます。ロールモデルを得られたのか、目標がよりはっきりしたのか、以前よりも積極的に日々の学習に取り組んでいるように思われます。塾への参加が本人の成長につながったと考えています。ありがとうございました。

- ぎふ立志リーダー養成塾に参加させていただき、ありがとうございました。岐阜県内の志の高い皆様とご一緒させていただき、大変良い機会となりました。

3泊4日の共同生活を通じて、自分の立ち位置やバランス感覚の大切さを学べたと思いました。沢山の気づきを与えていただいたことに、心より感謝申し上げます。

- 参加したいといった時、「知らない子ばかりで仲良くできるのか」、「途中で帰りたいと言わないか」など、とても不安でした。大雨の影響で、学校へ迎えに行った時、バスが先に出発し、到着するのが遅れてしまった。ですが、郡上の学生、県の関係者が待っていてくださり、このリーダー養成塾の良さ、温かさを実感しました。帰宅道中、岐阜駅への迎えがよかったと言われ、楽しかったんだと思った。事前の課題もしっかり発表できたと聞いている。

この塾で出会った学生との繋がりを大切に、この塾の体験、学習を今後の生活に生かしてほしいです。4日間、ありがとうございました。

- 今回のリーダー塾へは本人の強い希望で参加させていただきました。

リーダーとしての姿を見つめ直したかったのだと思います。帰宅後、「参加して本当に良かった」の第一声に力強さとたくましさを感じました。志の高い仲間とたくさんの事を共有し、意見し合い、大変刺激になったと思います。

今後の学校生活や色々な活動の場面で、この経験を生かしてほしいと願っています。本当にありがとうございました。

- 息子を送り出す際、周囲の仲間たちの礼儀の良さに驚き、少し不安を覚えたことを思い出します。しかし、最終日の発表会で堂々と司会を務める息子の姿を見て、安堵と共に、新たな驚きがありました。仲間との絆や、共に課題に向き合った時間の重みが、彼の表情や立ち振る舞いから伝わってきました。

短期間でこれほど成長するとは思わず、改めて彼の可能性を感じました。この塾で得た経験は息子にとって大きな財産になったと確信しています。

- 今回、このような魅力的な企画に娘を参加させていただきましてありがとうございました。

地元でずっと育っていると小学生から同じ交友関係で、目立つことを避けがちな傾向がありましたが、今回のような新しい刺激的な環境で、娘自身新しい自分に出会えたようです。

様々なリーダー像に触れ、とても意欲的になって帰ってきた気がします。これからも娘の姿を見守るのが楽しみです。本当にありがとうございました。

- 参加したことが本人の経験の素晴らしい糧になったようです！！

最初は、不安な気持ちを口にしていたのですが、帰ってきた時のにこやかで、自信に満ちた表情に、良い時間が過ごせたのだと感じました。

人と力を合わせることで、1人ではできないことが達成できるのだと学べたようです。楽しい仲間達との出会いも、人生の宝ですね。

貴重な体験の機会を頂き、ありがとうございました。

中学校の後輩たちにも“ぜひ、参加するといいよ”と、親子で伝えています。

- 初めての人達と3泊4日と長い時間、一緒に過ごすこと、課題をこなすことなど、不安がいろいろあって、参加を迷っていました。最終的には、やってみたい気持ちにおされて、参加を決めました。出発するまで、なんとなく不安そうだったのを見て、少し心配しながら送り出しました。帰

りのバスが大雨で6時間かかって、やっと帰ってこれたので、どんなに疲れているかと思いましたが、とてもいい顔で帰って来たので、よい時間を過ごせたんだと、とても安心し、うれしく思いました。そこから家まで帰る車の中で、2時間研修中の話をたくさんしてくれました。

- 親の心配を他所に、立志塾が始まる事を楽しみにしていた娘。事前取組の宿題を自分なりに調べ、まとめている姿に本気度を感じました。帰ってきた娘が一言。“楽しかった！”でした。ホッとすると同時に、充実した時間が過ごせたんだなと感じました。この経験を今後に生かしつつ、娘らしいリーダーになっていってくれたら嬉しいです。貴重な体験をさせて頂き、感謝しております。ありがとうございました。
- リーダー養成塾を終えて、「楽しかった」、「同じ考えを持つ人たちと交流ができて良かった」ということを言っていたので、充実した時間を過ごせたのではないかと思います。今回のプログラムを終えて、日常生活の中では、特別何か変化があったように感じませんが、今回の体験を学校や社会の場において、活かしていったほしいと思います。貴重な体験をする機会をいただき、感謝しております。
- 参加前は、「なんで応募したの?」、「このまま参加して大丈夫?」と、心配していましたが、いざ塾に参加し、戻ってこれば、開口一番、とってもいい顔で、「楽しかった!」と言い、どこか自信をつけた顔をしていました。誰でも体験していないことは不安ですが、飛び込ませることも大切だと感じました。他の子にも参加させたいです。
- 伊自良という生徒の人数も少なく、クラス替えもないため、今回のリーダー養成塾に参加し、様々な地域の方と交流できたことは、とても良い経験だったと思います。新たな友達もできたようで、良い刺激となっているのだなと感じます。以前より自分の意見を伝えるという事はできていましたが、今回「聞く」事の大切さを皆との意見交換で気づけた事、また、リーダーとして意見をまとめる考えを得られた事は、今後の成長に繋がっていくだろうと思います。
- ぎふ立志リーダー養成塾に参加すると決めるまでは、娘は迷いや不安があったようです。しかし、実際に参加してみて、初めて会う仲間やスタッフとの共同作業を通じて、色々な経験をする事ができたことは、本人にとって素晴らしい経験ができたと思っています。リモートで見た企画提案発表は、グループでの討議の成果を感じることができたものでした。今回の思い出を大切に、今後の学校生活に生かして欲しいです。本当にありがとうございました。
- 自分から行きたいと言い出したぎふ立志リーダー養成塾、調べ学習からとても楽しんで学習しておりました。実際に参加して、話し合いの時、皆、一人一人が自分の意見をもちながらも、それぞれの意見を尊重しながら、活発にそして前向きに良い話しあいできたことは、学校では得られないとても貴重な経験だったと思います。素敵な仲間に出会えて、協力しあいながら、1つのものを作りあげていくことができて、とても楽しかったようで、参加させて良かったと思っています。ありがとうございました。

- 他校の生徒との交流がもてていたようで、よかったです。
白川村に興味をもち、好きになったと話してくれました。家族でも、行ってみたいと思いました。
- 出発前は知り合いのいない環境は初めてだったので、少し緊張しているようでした。しかし、帰宅後は、素晴らしい仲間が出来たこと、卒塾生との交流も非常に楽しかったと話をしてくれました。また、班でのディスカッションにも刺激を受けたようでした。物事の考え方もひとつだけでなく、視野を広げてみるということの大切さも学ぶことが出来たようです。貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。
- 本人の感想から大変良かったと聞きました。普段から一緒に過ごしている人との意見交換と異なり、そこでしか体験できないものでしたので、良い経験、体験ができたのだと感じます。
今回の養成塾への参加は、私のリーダー研修等の体験から本人に進めましたが、本人にとって良い経験だったことが何よりです。今回は、貴重な経験をいただき、ありがとうございました。
- この度の講座に参加させていただき、自分の意見をただ発表するだけでなく、周囲の意見を聞き入れたり、その違いを理解しようとする姿が見られるようになりました。家庭でも、「今日、こんなことを学んだよ」と話してくれるなど、自分なりに整理して伝えようとする姿が身についたと感じます。今後も、今回の経験を自信とし、自分の考えを持ちながらも周囲と協力して、仲間を大切にできる人に成長していったほしいと願っています。リーダーという立場にとらわれすぎることなく、状況に応じて柔軟に動き、支え合える存在になってくれることを期待しています。
- 近所のお友達が中3の時に参加し、すごく良かったと教えてくれたおかげで、参加の知らせを聞いた時から、大喜びでした。バスに乗ってすぐから、会話が盛り上がり、最後のお別れまで、仲間と深い交流ができたようです。部活の人間関係で悩んで自信をなくしていた時だったので、たくさんの仲間とお互いの考えを伝え合い、分かり合えた経験のおかげで、前向きに物事をとらえられるようになりました。合宿から帰ってきてからは、親子関係も良くなり、家族での笑い声も増え、このすばらしい出会いとみなさんと過ごした4日間のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。関わって下さった全てのみなさんに、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。
- 最初は、知らない人たちと4日間過ごすことに、楽しみであり、不安であり、様々な感情が入り混じることを“一つの経験”という思いで送り出しました。帰ってくるなり、「楽しかった！」とたくさん話をしてきて、とても良い経験になったこと、嬉しく思います。中学校では、仲間と主体的にスポーツフェスティバルや生徒会に取り組みましたが、養成塾に参加して、他地域の子との出会いで視野が広がり、先輩方にアドバイスをもらったことで、将来の理想の姿もイメージできたのではないかと思います。すてきな出会いに感謝し、これからも応援していきます。
- 今回、娘が3年生でまさに今後の進路を決めようとしているタイミングで、塾に参加できてとても良かったと思います。進路を考える中で、娘自身も親としても、自分を知り、さらに広い世界や

様々な人との出会いを体験して行ってほしいと考えるようになりました。今回の塾では、まさにそれにピッタリの体験ができ、ますます広い世界を知りたい、そのために自分を成長させていきたいという意欲につながったようです。帰りの車の中でも、興奮ぎみに塾でのことを細かく話してくれました。とあるスポーツ強豪高校のコーチの「岐阜県の子に足りないのは積極性。それができるようになればもっといける。」という言葉が印象に残っていますが、岐阜県の子の良さを伸ばしつつ、積極性やそれを表現する力のある子たちが、多く育って行ってほしいと願っています。これからも、続けて下さい！！

- 子どもが書いたタイトル通り、とても「成長」したんだな。と、日々感じます。リーダーになった当初は、一人いろいろな事を考えてしまっていた様で、家で暗い顔、悩んでいる感じがあり、話を聞くと、まだ始まってもない事、もしかしたら、こうなってしまうかもという事で悩んでいました。「分からない事は、聞けばいい、一人でやる必要は無い。」という話をしましたが、腑に落ちない様子、でしたが、今回参加させてもらい、考え方、捉え方が変わった様で、学校での事も楽しそうに話をしてくれるようになりました。

人との繋がり、大切さを学ばさせていただき、ありがとうございました。



～卒業生ボランティアスタッフの感想～

明日につながるリーダー養成塾

私は中学生の時にリーダー養成塾でやりきれなかったことがありました。それは、初めて会う人たちとどう関係を築けばいいのかわからなかったこと、そして、挑戦するべきところで一歩引いてしまったことです。皆さんは、このリーダー塾でどのような学びや気づきがありましたか？

今回初めて学生スタッフとして参加し、まず衝撃を受けたのは、バスに乗ってすぐに打ち解ける皆さんの姿でした。初対面の人とすぐに関係を構築することができるのは、今後も役に立つ能力の一つだと思います。そして次に驚いたのは、課題の解決に向かって、グループでの自分の役割を考えながら話し合いに参加していたことです。これは特に担当させていただいたグループの皆さんの話になりますが、初めて会った人たちと一つのことを作り上げることは、とても難しいことだったと思います。しかしそのような場面でも、自分がグループの中で何をできるのかを考え、一人一人が役割を担おうとしていた印象がありました。自分が果たすべきリーダーシップは、場面によって変わると思います。その中でも今自分が何をできるか考えて話し合いにかかわる姿、とても素敵でした。

自分から挑戦することができた皆さんは、最高の思い出と経験を得ることができたと思います。中学校を卒業して高校・大学、社会人へと成長していく中で、その経験を時々振り返りながら、壁を乗り越える力にしてください。もしも私のようにやりきれなかったと感じたことがあったとしても、これからの自分にまかせればいいと思います。次に似たような場面に出会ったときに、また躊躇してしまうかもしれない自分の背中を少しだけ押す勇気になってくれます。そして同じようなチャンスは姿を変えてたくさん会いに来てくれるので、過去ばかりを振り返らないことも大切です。

自分から積極的に学びに向かう塾生の皆さんの姿を見て、たくさん元気をもらいました。やる気のある皆さんと関わることで私も様々なことに挑戦したいと思いましたし、私にとって後悔がないと言える岐阜立志リーダー養成塾にすることができました。ありがとうございました。皆さんのさらなるご活躍を応援しています。

かけがえのない4日間

今回、5年ぶりに学生スタッフとしてこのぎふ立志リーダー養成塾に参加させていただきました。まず集合場所で初めての仲間に緊張している様子の中学生を見たとき、まるで5年前の自分たちを見ているようで懐かしさを感じました。また、白川村に近づくにつれてバスの中で積極的に隣の子に話しかける姿なども見られ中学生の子たちの積極性に感心させられました。また初日の柳原塾長の講話のときも質疑応答で積極的に挙手をする姿であったり、チームビルディングでの初めてのチームでの活動で楽しみながらも一生懸命全員で作戦を考えていたりする姿を見てこの子達の強さを実感しました。

2日目からは「地域課題への企画提案」が本格的に始まりました。白川郷での聞き取り調査で

はスタッフがサポートすることなく地元の方、さらには外国から観光に来ていた方に積極的に質問していて驚かされました。特に初日は大人しめだった子も進んで話している様子を見て成長を感じられて嬉しく思いました。

3日目はグループ内での企画提案に関する話し合いがメインでした。話し合いが進んでいくにつれて話し合いの内容がゴールからずれていたり、行き詰まったりしたことも多くありました。そこでグループのリーダーが臨機応変に動き、それに対して周りのメンバーもそれに応えるように発言や動きがあったのがすごくいいなと思いました。またリハーサルで発表の時間が余ってしまいそうな時も自分たちでどんどん新しい案であったり元々の案を肉付けしたりして4日目には素晴らしい発表をした姿を見てこの4日間の生活や感じたこと、学んだことが彼らにとってすごく貴重でかけがえのないものになってくれればいいなと思いました。この塾が始まる前はちゃんといいアドバイスやヒントを生徒たちに与えられるか不安でしたがその不安を忘れさせるような中学生の活躍はとても頼もしいものがありました。

さて、参加した中学生のみなさんはこの塾に参加してよかったと思ってくれたでしょうか。参加して自分の成長を感じられたでしょうか。各学校のリーダーが集まりいろいろなプログラムを行うことで普段の学校生活で得ることのできる以上のものを得ることができたのではないかと思います。またこの塾で学んだことをこれからの人生にどんどん活用してほしいと思います。またどこかでリーダーとして活躍している姿を見るのを楽しみに応援していきます。4日間お疲れ様でした。

皆に出会えてよかった

お久しぶりです。お元気ですか。昨年度も学生スタッフとして参加しましたが、今年度は、一瞬で4日間が過ぎ去り、気が付いたら白川郷ロスになっていました…。これは、私自身が昨年度以上に全力で駆け抜けたこと、塾生の皆さんが本気でぶつかっていたこと、何より4日間が最高に楽しかったからだと思っています。振り返ると、昨年からの自分自身の成長を感じるとともに、まだまだ足りないと感じることも多くありました。それでも、ここでしか得られない刺激に溢れ、非常に価値のある時間になりました。葉桜を見に行ったり、プリンと一緒に食べたり、星空を見に行ったら曇りで見えなかったり、お手紙を貰って嬉しくて寂しくて泣きそうになったり、懐かしいですね。

Cグループの皆さんには、「自分たちで考えて企画提案を形にして欲しい」という思いから、多く声をかけるのは避けていました。チームビルディングでは、初対面で緊張しながらもお互いに声を掛け合い、打ち解けていく姿に感心していました。企画提案では、順調に行く場面も壁にぶつかる場面もありましたが、適材適所の役割分担をし、全員で取り組む姿に流石だなと感じさせられました。

ぎふ立志リーダー養成塾は終了しましたが、塾生の皆さんにとっても、私たち学生スタッフにとっても、本番はここからだと思います。4日間で学んだこと、感じたことは、終わった瞬間に楽しかった思い出で終わらせるのではなく、“どう活かすのか”が重要になると思います。その過程で楽しい事も辛いことも逃げたくなる事もあるかもしれません。頑張り屋さんの皆さんは、心に余裕がなくなる時があるかもしれません。そんな時は少し下がってみてください。下がることは

“逃げ”ではなく、もっと前に進むための“助走”だと思います。下がることで、今まで気づかなかった景色が見え、次のステップへと繋がるのではないのでしょうか。何より、養成塾で過ごした経験は心のどこかで糧になるはずです。“恩返し”“恩送り”の一つとして、皆さんが数年後、学生スタッフとして白川郷に帰ってくることを楽しみにしています。皆さんのこれからのご活躍を心から応援しています。

学生スタッフの皆さん、1年振り、6年振りに再会しましたが、とても頼りになり尊敬できる同期だと改めて感じました。グループを私1人で担当するということが不安で一杯でした。しかし、学生スタッフの仲間に「手伝うよ」など声をかけて貰い、何度も助けられました。本当にありがとうございました。

また、このような機会を与えてくださった県の職員の皆様、快適に過ごせるようサポートしてくださったトヨタ自然学校の皆様、心から感謝申し上げます。また、塾生の皆さんを不安ながらも温かく送り出し、支えてくださった保護者の皆様、中学校の先生方にも、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

またどこかで、皆さんと再会できますように。

未来を切り拓く塾生たち

この4日間は私にとって忘れられない素晴らしい時間となりました。全てが非日常で刺激に満ちており、周りから多くの良い影響を受けることができました。自発的に行動する頼もしい姿を見せてくれた塾生のみんな、わかりやすくなるための講話をしてくださった講師の方々、陰で支えてくださった運営の方々、そして共に活動した学生スタッフの仲間たち。多くの人の力によって、この養成塾が成り立っていることを実感し、深い感謝の思いでいっぱいです。

振り返ると、私は中学2年の時に一度、このぎふ立志リーダー養成塾に参加した経験があります。当時は強い意志があったわけではなく、友人に誘われて応募したのがきっかけでした。リーダーとして周りにどう示すべきかに悩んでいたため、参加することを決めたのですが、いざ前日になると軽い気持ちで応募したことを後悔したのを覚えています。それでも同世代のリーダーたちと関わることに高揚感があり、実際に参加して多くの学びを得ました。その経験があったからこそ、今回スタッフとして携わる中で塾生の姿に昔の自分を重ね合わせることができ、日を追うごとに彼らの頼もしさや積極性に心から喜びを感じました。

学生スタッフとしての参加は今回が2回目でしたが、塾生の皆さんの積極性には改めて強く感心させられました。一人一人が考えを言葉にし、グループ全体で一つの方向性を見出す過程では、時には意見がぶつかることもありました。しかし、それは本気で向き合った証であり、だからこそ最終的な発表は充実し、学びにつながったのだと思います。議論や衝突を乗り越えていく姿は、リーダーとして大切な力を育んでいるように感じました。

また、学生スタッフとして塾生の意見を引き出し、より良い議論ができるようサポートすることは私にとっても大きな挑戦でした。毎日の振り返りの中で、自分自身の成長や仲間への信頼、あるいはその日に得た言葉を自分なりに解釈し、率直に語ってくれる塾生の姿には、人として尊敬すべきものがありました。彼らが自信を持って発言する姿や、困難な課題に挑む姿勢を間近で見守ることができたのは、私自身にとってもかけがえのない経験であり、大きな励みとなりました。

た。

今回の経験を通して、塾生一人一人が将来どのように成長していくのか、数年後や数十年後がとても楽しみになりました。同時に、自分自身もっと尊敬される人間性と行動力を身につけたいと強く思いました。リーダー塾での貴重な経験が皆さんの未来を照らしてくれる指針になると思います。これからも、未来のリーダーを育てる場としてこの養成塾が発展し続けることを願い、関わったすべての方々の今後のご活躍を心より期待しています。

素敵なリーダーの皆さんと過ごした4日間

今年度も昨年続き、ぎふ立志リーダー養成塾に学生スタッフとして参加させていただき、非常に価値のある時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

今年は側から見守ろう。少しヒントを与えるだけにしよう。と思って参加しました。それは、昨年度の反省点として、私たちが輪に入り込みすぎていたせいで、中学生の子たちの考える機会を少なくしてしまったのではないかと後悔していたからです。そのため、今回はかなり探り探りでみなさんのグループ活動に参加しました。「もっと何か助言した方がいいのかいや、今はそっと見守った方がいいのか」と何度も葛藤しました。自身の力不足を感じることも多かったです。3日目の夜、完成していない原稿やスライドにかなり詰め込んで助言をし、「寝る前に考えてみて」と言った後は、もっと何かしてあげられたのではないかと深く反省していました。ですが、4日目の発表で前日からさらにパワーアップした発表となっていたこと。原稿を暗記し、聴いてくださっている方々に向けて堂々と企画提案をしていたこと。前日から驚くほど成長している皆さんはとってもかっこよかったですし、気づいたら目に涙が溜まっていました。

グループの子には少し話したのですが、私は「なんで？」をととても大事にしています。それは、何度も深掘りした先にある本当の問題点、理由、本質に気づけるからです。それを実感して欲しくて、私のグループの子には何度も「なんで？」と聞きました。すごく意地悪なことしてるな。と時々心苦しかったのですが、何度聞いても真剣に考える姿、聞かなくても深掘りできている姿、新しい気づきを得た姿を見た時は、何か成長のきっかけを与えられた気がしました。あとは、他者の素敵な行動を見た時、自分では思いつかなかったようなアイデアが出てきた時、「なんでそのような行動をしたのだろうか」「なんでそのように考えられたのか」と、一歩立ち止まって考えてみてほしいです。そして、そのなんで？の答えを、「そういう考えもあるんだ。」と、自分の考えの引き出しに取り入れて、自分自身をさらにレベルアップさせていってください。

3日目の夜、「円陣組もう！」と声をかけて、全員で集まって円陣をしたこと、私はこの円陣の光景と、みなさんの笑顔が忘れられません。最強で素敵なチームだな。と思いました。ぜひ、ここで出会った24人の仲間とのご縁を大事にして、今後も学び合い、共に成長してください。

私にとってこの4日間は、非常に濃く充実しており、学びの多い4日間でした。これからもみなさんの成長が見たかったです。「頑張ってるよ！」と時々心の中で教えてください。それを感じ取って私も頑張ります。素敵なリーダーの皆さんに出会えて良かったです。人生の宝物が増えました。みなさんのご活躍を応援しています。

最後になりますが、このような貴重な機会をくださった県の職員の皆様、トヨタ自然学校の皆様、ぎふ立志リーダー養成塾に関わったすべての皆様へ、心から感謝しております。ありがとう

ございました。

卒塾生スタッフとして参加して

2025 年夏、6 年ぶりに立志リーダー養成塾に戻ってきました。今回は、学生スタッフとしての初めての参加でした。まずはじめの感想として、中学生の時に会った同期と、学生スタッフとして再会することができ、嬉しく思いました。これまでを振り返ると、6 年の間に様々なことを経験してきました。高校入学、卒業後、現在は大学でそれぞれ違った専門分野を学んでいます。活躍する場は異なりますが、共通して言えるのは、皆リーダー力に長けているという点です。同じ立場である学生スタッフから学ぶこともあり、多くの刺激を受け、今回の立志塾を通して自身の成長につながったと感じています。

私の担当したグループの中学生の子たちは出会ってすぐに打ち解け、仲が非常に良いのが印象的でした。話し合いが順調に進んだのも束の間、リーダーだらけの立志塾だからこそ起こる意見のぶつかり合いにより、話し合いがうまく進まない場面もあり、最終日の発表に間に合うか心配しました。しかし、メンバー一人一人が自分の役割を理解した上で状況を冷静に把握し、自分の意見を伝えながらも相手の意見も尊重し、誰もが納得できる結論に至るまで何度も一から考え直す粘り強さ、諦めず何度も立ち向かう姿勢が見られました。常に明るさを忘れなかったのもグループの武器だったと考えます。迎えた最終日、緊張の中、発表は無事に終わりました。発表後の講評では真っ先にお褒めの言葉をいただき、自分たちのグループの活躍を心から誇りに思いました。

閉塾式が終わった後、私が担当したグループの中学生の子たちに急に呼ばれ、不思議に思っていたら、まさかの学生スタッフに向けてのお礼の手紙を頂きました。大雨の影響でスケジュールが急に変更されタイトになったため、プレゼン以外に割く時間はないだろうと期待はしていなかったのですが、グループのメンバー一人一人から私に向けて感謝の気持ちを伝えてくれて、とても感動し涙が出てきました。それと同時に達成感も味わいました。今回の立志塾を通して、中学生の子たちの成長をそばで見守ることができ、とても嬉しく感じています。たった4日間という期間だったのにもかかわらず、彼らとここまでの深い関係性を築き、思い入れのある時間を過ごすことができたのは、学生スタッフとしての醍醐味です。中学生の参加者の皆さんを始め、学生スタッフ、引率して下さった方々、関係者の皆様、このような素敵な経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。また機会があれば、学生スタッフとして立志塾に参加したいと思います。



事業の成果

ぎふ立志リーダー養成塾参加者の事前(開塾式前)、事後(閉塾式前)、追跡(2 か月後)において「IKR 評
定用紙(簡易版)」(独立行政法人国立青少年教育振興機構)を用い、「生きる力」の変容についてのアンケート
調査を行った。以下に調査結果を示す。

(教育効果の検証) 分析方法：反復測定による一元配置分散分析(分析結果の詳細は詳細出力を参照)

「生きる力」の変容(得点範囲：28～168点)

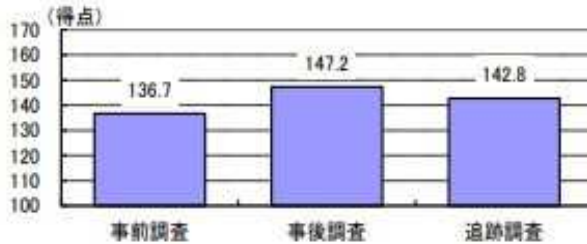


図1. 「生きる力」の平均値の推移

(事前－事後)

- ・事前から事後にかけて 10.5ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

(事後－追跡)

- ・事後から追跡にかけて 4.4ポイント低下
- ・その低下に有意差は見られなかった

(事前－追跡)

- ・事前から追跡にかけて 6.1ポイント向上
- ・その向上に有意差は見られなかった

「心理的社会的能力」の変容(得点範囲：14～84点)

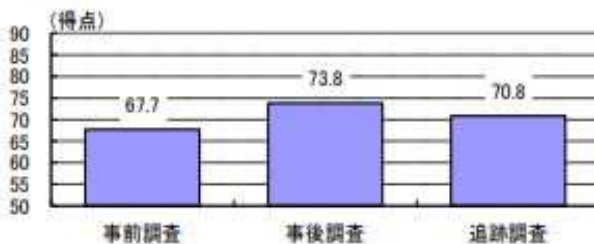


図2. 「心理的社会的能力」の平均値の推移

(事前－事後)

- ・事前から事後にかけて 6.1ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

(事後－追跡)

- ・事後から追跡にかけて 3.0ポイント低下
- ・その低下に有意差は見られなかった

(事前－追跡)

- ・事前から追跡にかけて 3.1ポイント向上
- ・その向上に有意差は見られなかった

「徳育的能力」の変容(得点範囲：8～48点)

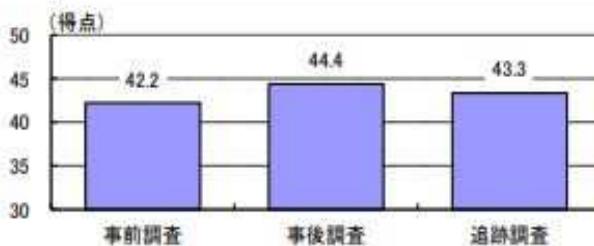


図3. 「徳育的能力」の平均値の推移

(事前－事後)

- ・事前から事後にかけて 2.2ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

(事後－追跡)

- ・事後から追跡にかけて 1.1ポイント低下
- ・その低下に有意差が見られた

(事前－追跡)

- ・事前から追跡にかけて 1.1ポイント向上
- ・その向上に有意差は見られなかった

「身体的能力」の変容(得点範囲：6～36点)

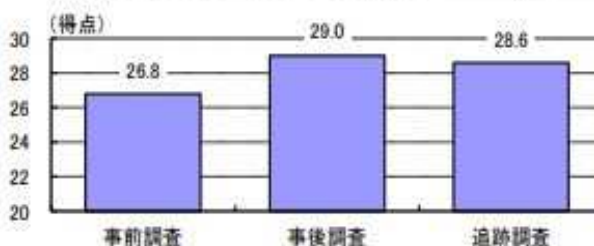


図4. 「身体的能力」の平均値の推移

(事前－事後)

- ・事前から事後にかけて 2.2ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

(事後－追跡)

- ・事後から追跡にかけて 0.4ポイント低下
- ・その低下に有意差は見られなかった

(事前－追跡)

- ・事前から追跡にかけて 1.8ポイント向上
- ・その向上に有意差は見られなかった

(生きる力・28項目の集計結果)

能力	調査項目	事前調査		事後調査		追跡調査		
		M	SD	M	SD	M	SD	
生きる力		136.7	17.6	147.2	17.9	142.8	18.0	
心理的社会的能力		67.7	10.0	73.8	10.2	70.8	10.5	
心理的社会的能力	非依存	1. いやなことは、いやとはっきり言える	4.5	0.9	5.0	1.0	4.7	1.1
		15. 小さな失敗をおそれない	4.5	1.4	5.4	1.1	5.0	1.3
	積極性	11. 自分からすすんで何でもやる	5.0	0.8	5.1	0.9	5.1	0.9
		25. 前向きに、物事を考えられる	4.9	1.2	5.5	0.7	5.1	1.1
	明朗性	5. だれにでも話しかけることができる	4.9	1.0	5.3	0.8	5.1	1.0
		19. 失敗しても、立ち直るのがはやい	4.5	1.4	5.1	1.2	4.5	1.5
	交友・協調	7. 多くの人に好かれている	4.4	0.9	4.9	1.2	4.7	1.2
		21. だれとでも仲よくできる	5.2	0.9	5.5	0.8	5.3	0.9
	現実肯定	9. 自分のことが大好きである	4.8	1.2	5.2	1.1	4.8	1.4
		23. だれにでも、あいさつができる	5.5	0.7	5.7	0.6	5.6	0.5
	視野・判断	3. 先を見通して、自分で計画が立てられる	4.3	1.0	5.1	0.9	4.5	1.3
		17. 自分で問題点や課題を見つけることができる	5.0	0.9	5.3	0.9	5.4	0.9
	適応行動	8. 人の話をきちんと聞くことができる	5.3	0.8	5.3	0.8	5.4	0.9
		22. その場にふさわしい行動ができる	5.1	1.0	5.4	0.8	5.5	0.8
徳育的能力		42.2	4.6	44.4	4.5	43.3	4.6	
徳育的能力	自己規制	14. 自分かっとな、わがままを言わない	4.8	1.0	5.3	0.9	5.0	1.0
		28. お金やモノのむだ使いをしない	5.1	0.9	5.4	0.7	5.1	0.9
	自然への関心	6. 花や風景などの美しいものに、感動できる	5.5	0.7	5.7	0.8	5.5	1.0
		20. 季節の変化を感じることができる	5.3	0.9	5.7	0.6	5.8	0.5
	まじめ勤勉	12. いやがらずに、よく働く	5.3	0.7	5.4	0.8	5.4	0.7
		26. 自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる	5.6	0.6	5.8	0.4	5.8	0.5
	思いやり	2. 人のために何かをしてあげるのが好きだ	5.4	0.7	5.7	0.6	5.4	0.9
		16. 人の心の痛みがわかる	5.2	0.8	5.4	0.8	5.4	0.7
	身体的能力		26.8	4.4	29.0	4.6	28.6	4.4
	身体的能力	日常的行動力	13. 早寝早起きである	3.7	1.5	4.1	1.5	3.8
27. からだを動かしても、疲れにくい			4.5	1.1	4.9	1.2	4.7	1.2
身体的耐性		4. 暑さや寒さに、まけない	4.5	1.2	5.1	1.3	5.1	1.2
		18. とても痛いケガをしても、がまんできる	4.8	1.1	4.9	1.3	4.9	1.3
野外技能・生活		10. ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える	4.8	1.2	5.0	1.2	5.1	0.9
		24. 洗濯機がなくても、手で洗濯できる	4.5	1.3	5.0	0.9	5.0	1.1

*各項目で「とてもあてはまる」を6点、「まったくあてはまらない」を1点としてそれぞれ1点刻みで得点化し、項目ごとに平均点 (M) 及び標準偏差 (SD) を算出

結果の考察

「生きる力」の 3 つの指標「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」の全ての項目において、事前調査から事後調査にかけてその向上に有意差が見られた。また、事前調査から追跡調査においては、有意差は見られなかったものの全ての項目でポイントの上昇がみられた。

このことから、ぎふ立志リーダー養成塾での経験により、リーダー塾参加 2 か月後においても参加者の「生きる力」の向上が継続していると考えられる。

事前調査から事後調査にかけて、注目すべき項目は、「【積極性】25. 前向きに、物事を考えられる」である。この項目については、事前調査から事後調査にかけて 0.6 ポイント上昇するとともに、SD 値が 0.5 ポイント減少しており、集団全体としての向上していることが考えられた。また、「【非依存】15. 小さな失敗をおそれない」については、0.9 ポイント上昇しており、プログラムを通してチャレンジする気持ちが育っていることが考えられた。また、有意差はないものの事前調査から追跡調査にかけて全体的に向上しており、プログラムが持続的な影響を与えていることが分かる。

この塾を開催するにあたり、協賛、後援いただいたみなさん

(協賛)

一般社団法人岐阜県経済同友会

一般社団法人岐阜県経営者協会

岐阜県商工会議所連合会

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜県商工会連合会

(後援)

岐阜県教育委員会

[事務局]

岐阜県子ども・女性部 子ども・女性政策課 青少年係

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL : 058-272-1111 (内線) 3520

FAX : 058-278-2892

Eメール : c11239@pref.gifu.lg.jp



岐阜県 子ども・女性部 子ども・女性政策課
青少年係

〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1

T E L : 058-272-1111 (内線 3520)

058-272-8238 (直通)